

特別支援学校における図画工作科・美術科 の授業づくりに関する研究

—文化芸術活動の充実に向けて—

《補助資料目次》

【補助資料1】 図画工作科・美術科の授業づくりにおける困難さに関する調査	1
【補助資料2】 図画工作科・美術科における児童生徒の実態についての調査	2
【補助資料3】 文化芸術活動に関わる地域資源についての調査	6
【補助資料4】 小学部図画工作科学習指導案	10
【補助資料5】 P D C Aシートによる授業改善（小学部）	25
【補助資料6】 児童の変容と評価	27
【補助資料7】 高等部美術科学習指導案	31
【補助資料8】 生徒の変容と評価	45
【補助資料9】 P D C Aシートによる授業改善（高等部）	52
【補助資料10】 文化芸術活動地域資源活用リーフレット	53
【参考資料】 図画工作科・美術科の授業づくりにおける教師の困難さについての変化	57

《研究協力校》

岩手県立花巻清風支援学校

令和4年2月
岩手県立総合教育センター
教育支援相談担当
福田要
阿部真弓

【補助資料1】図画工作科・美術科の授業づくりにおける困難さに関する調査

図画工作科・美術科の授業づくりにおける教師の困難さに関する調査

『特別支援学校における美術の実施実態に関する全国調査』池田史志・児玉真樹子・高橋智子 2017 特別支援学校における美術の指導困難に関する質問項目を参照して作成)

8月実施

学部 氏名

所属学部 小 中 高

カテゴリー	No.	質問	困難さ									
			低い	←	→	高い						
実態把握	1	クラスに在籍する子ども一人ひとりの実態を的確に把握すること	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	2	図画工作科・美術科（造形活動）に必要となる、実態把握の観点を設定すること	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	3	クラスに在籍する子ども全員の実態を、チーム・ティーチングの先生と共通理解すること	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標設定	4	授業で、子ども一人ひとりの実態に応じた目標設定を行うこと	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	5	他の教科・領域で設定する目標と、図画工作科・美術科（造形活動）で設定する目標を関連付けること	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	6	個別の指導計画で図画工作科・美術科（造形活動）の長期目標を設定すること	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
題材開発	7	クラスに在籍する子ども全員が活動可能な図画工作科・美術科（造形活動）の授業を設定すること	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	8	平面作（絵や版画等）を制作する題材を開発すること	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	9	立体作品（彫刻、工芸等）を製作する題材を開発すること	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	10	造形遊び（遊びの要素を含む造形活動）の題材を開発すること	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	11	鑑賞の題材を開発すること	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	12	子どもが興味関心を持って意欲的に活動できる図画工作科・美術科（造形活動）の題材を開発すること	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
支援	13	子ども一人ひとりの実態に応じて教材教具を用意すること	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	14	どこまでを支援し、どこまでを子供が自力で制作すればよいのかを見極めること	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	15	子どもの状態を見ながら、安全に授業を運営すること	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
改善	16	子どもがつまづいている原因を的確に把握すること	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	17	授業で発生した指導上の問題点を改善すること	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
チーム・ティーチング	18	主担当教員と副担当教員の役割を明確にして実践すること	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	19	チーム・ティーチングの先生と授業のねらいを共有すること	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	20	チーム・ティーチングの先生と個別の支援の程度を共通認識すること	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	21	チーム・ティーチングの先生に対して子どもの作品に手を加えずに伝えること	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
評価	22	個別の実態に応じて評価を行うこと	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	23	評価の観点を設定すること	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
専門性	24	図画工作科・美術科（造形活動）の教科内容に関する専門知識を身につけること	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	25	障がいに関する専門的な知識を身につけること	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

図画工作科・美術科における児童の実態についての調査

8月実施

小学部 年 組 イニシャル

・児童の実態について回答してください。(調査用紙は1生徒につき1枚です。)

・以下の質問に対して、生徒の実態について、

あてはまらない(ほぼ0%)、まれにあてはまる(およそ25%)、ときどきあてはまる(およそ50%)、しばしばあてはまる(およそ75%)、あてはまる(ほぼ100%)から適当と思われる箇所に○をつけてください。
 実際に行っている支援等について、a個別対応(教師が個別に行う具体的な働きかけ(声掛けや指差し、促しなど)) b小集団への支援(教師が複数名の人数を対象に行う具体的な働きかけ(声掛けや指差し、促しなど))
 c題材・材料(個にあわせた題材・材料・道具の準備) d環境(学習環境の整理や構造化) から必要な項目に○をつけてください。(複数回答可)

・【観点】主体的に学習に取り組む態度について ※部分は、各授業単体での評価基準ではありませんが、学びに向かう力、人間性等については、学習を積み重ねる中で涵養されるものとなります。

観点	質問	実態				支援内容				
		あてはまらない	まれにあてはまる	ときどきあてはまる	しばしばあてはまる	あてはまる	a 個別対応	b 小集団対応	c 題材・材料	d 環境
知識	1	自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付いている。								
	2	自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いについて気付いている。								
	3	自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じに気付いている。								
技能	4	形や色彩、材料や光などの特徴について知っている。								
	5	形や色彩、材料や光などの特徴について理解している。								
	6	形や色彩、材料や光などの動きを理解している。								
	7	身の回りの自然物などに触れながらかく、切る、ぬる、はるなどをしている。								
	8	身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくったりしている。								
	9	様々な材料や用具を使い、工夫して絵をかいたり作品をつくったりしている。								
技能	10	材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表している。								
	11	材料や用具の扱い方を身に付け、表したいことに合わせて、材料や用具の特性を生かしたり、それらを組み合わせたりして計画的に表している。								
	12	材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表している。								
技能	13	材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表している。								

【補助資料2-①】図画工作科・美術科における児童の実態についての調査(裏)

観点	質問	段階	実態				支援内容			
			実際に あてはまる	ほとんど あてはまる	しばしば あてはまる	あてはまる	a 個別対応	b 小集団対応	c 題材・材料	d 環境
思考・判断・表現	14	1					a 個別対応	b 小集団対応	c 題材・材料	d 環境
	15	2					a 個別対応	b 小集団対応	c 題材・材料	d 環境
	16	3					a 個別対応	b 小集団対応	c 題材・材料	d 環境
	17	1								
	18	2								
	19	1								
主体的に学習に取り組む態度	20	2								
	21	1					a 個別対応	b 小集団対応	c 題材・材料	d 環境
	22	2					a 個別対応	b 小集団対応	c 題材・材料	d 環境
	23	3					a 個別対応	b 小集団対応	c 題材・材料	d 環境
	24	1								
	25	2								
26	1									
27	2									

【補助資料2-②】 図画工作科・美術科における生徒の実態についての調査 (表)

図画工作科・美術科における生徒の実態についての調査

8月実施

高等学校2年 組 イニシヤル

【調査2】

・生徒の実態について回答してください。(調査用紙は1生徒につき1枚です。)

・以下の質問に対して、生徒の実態について、

あてはまらない(ほぼ0%)、まれにあてはまる(およそ25%)、ときどきあてはまる(およそ50%)、しばしばあてはまる(およそ75%)、あてはまる(ほぼ100%)から適当と思われる箇所に○をつけてください。

実際に行っている支援等について、a 個別対応(教師が個別に行う具体的な働きかけ(声掛けや指差し、促しなど)) b 小集団への支援(教師が複数名の人数を対象に行う具体的な働きかけ(声掛けや指差し、促しなど))

c 題材・材料(個にあわせた題材・材料・道具の準備) d 環境(学習環境の整理や構造化) から必要な項目に○をつけてください。(複数回答可)

・【観点】主体的に学習に取り組む態度について ※部分は、各授業単体での評価基準ではありませんが、学びに向かう力、人間性等については、学習を積み重ねる中で涵養されるものとなります。

観点	質問	段階	実態				支援内容			
			まれにあてはまる	ときどきあてはまる	しばしばあてはまる	あてはまる	a 個別対応	b 小集団対応	c 題材・材料	d 環境
知識	1 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付いている。	1					a 個別対応	b 小集団対応	c 題材・材料	d 環境
	2 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いについて気付いている。	2					a 個別対応	b 小集団対応	c 題材・材料	d 環境
	3 自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じに気付いている。	3					a 個別対応	b 小集団対応	c 題材・材料	d 環境
	4 形や色彩、材料や光などの特徴について知っている。	1					a 個別対応	b 小集団対応	c 題材・材料	d 環境
	5 形や色彩、材料や光などの特徴について理解している。	2					a 個別対応	b 小集団対応	c 題材・材料	d 環境
	6 形や色彩、材料や光などの動きを理解している。	1 2					a 個別対応	a 個別対応	c 題材・材料	d 環境
技能	7 身の回りの自然物などに触れながらかく、切る、ぬる、はるなどをしている。	1					a 個別対応	b 小集団対応	c 題材・材料	d 環境
	8 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくったりしている。	2					a 個別対応	b 小集団対応	c 題材・材料	d 環境
	9 様々な材料や用具を使い、工夫して絵をかいたり作品をつくったりしている。	3					a 個別対応	b 小集団対応	c 題材・材料	d 環境
	10 材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表している。	1					a 個別対応	b 小集団対応	c 題材・材料	d 環境
	11 材料や用具の扱い方を身に付け、表したいことに合わせて、材料や用具の特性を生かしたり、それらを組み合わせたりして計画的に表している。	2					a 個別対応	b 小集団対応	c 題材・材料	d 環境
	12 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表している。	1					a 個別対応	b 小集団対応	c 題材・材料	d 環境
	13 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表している。	2					a 個別対応	b 小集団対応	c 題材・材料	d 環境

【補助資料2-②】 図画工作科・美術科における生徒の実態についての調査（裏）

観点	質問	段階	実態				支援内容						
			絶対に あてはまる	ときに あてはまる	しばしば あてはまる	あてはまる	a 個別対応	b 小集団対応	c 題材・材料	d 環境			
思考・判断・表現	14	1								a 個別対応	b 小集団対応	c 題材・材料	d 環境
	15	2								a 個別対応	b 小集団対応	c 題材・材料	d 環境
	16	3								a 個別対応	b 小集団対応	c 題材・材料	d 環境
	17	1								a 個別対応	b 小集団対応	c 題材・材料	d 環境
	18	2								a 個別対応	b 小集団対応	c 題材・材料	d 環境
	19	1								a 個別対応	b 小集団対応	c 題材・材料	d 環境
	20	2								a 個別対応	b 小集団対応	c 題材・材料	d 環境
	21	1								a 個別対応	b 小集団対応	c 題材・材料	d 環境
	22	2								a 個別対応	b 小集団対応	c 題材・材料	d 環境
	23	3								a 個別対応	b 小集団対応	c 題材・材料	d 環境
	24	1								a 個別対応	b 小集団対応	c 題材・材料	d 環境
	25	2								a 個別対応	b 小集団対応	c 題材・材料	d 環境
	26	1								a 個別対応	b 小集団対応	c 題材・材料	d 環境
	27	2								a 個別対応	b 小集団対応	c 題材・材料	d 環境

【補助資料3】文化芸術活動に関わる地域資源についての調査（表）

【調査3】

文化芸術活動にかかわる地域資源についての調査

高等部2年
氏名

No.	質問		
	<p>あなたは、今まで学校以外で、音楽や絵、演劇や映画などを鑑賞したことがありますか。</p> <p>鑑賞したことが「ある」とき <input checked="" type="radio"/> ある</p> <p>→場所や方法を書いて下さい。 <small>（OO美術館、映画館など）</small> 方法（テレビ、CD・DVD、インターネットなど）</p> <p>鑑賞したことが「ない」とき <input checked="" type="radio"/> ない 「わからない」とき <input checked="" type="radio"/> わからない</p>		
	種類	場所や方法	
鑑賞活動に関すること	音楽（オーケストラ、合唱など） 	ある <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/>	わからない
	美術作品（絵・彫刻・書道・など） 	ある <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/>	わからない
	演劇（人形劇・ミュージカルなど） 	ある <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/>	わからない
	踊り（バレエ・ダンスなど） 	ある <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/>	わからない
	映画 	ある <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/>	わからない
	アニメ映画・CGアート 	ある <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/>	わからない
	伝統芸能（歌舞伎・鹿踊り・鬼剣舞など） 	ある <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/>	わからない
	芸能（落語・漫才など） 	ある <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/>	わからない
	お城・名勝地などの文化財 	ある <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/>	わからない
	その他 ある <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/>		わからない
	鑑賞したものはない <input checked="" type="radio"/> はい		
2	あなたは、自分の住んでいる地域（花巻市など）の芸術活動を鑑賞することができる場所を知っていますか。「知っている」時は、その場所の名前を書いてください。		

【補助資料3】文化芸術活動に関わる地域資源についての調査（裏）

【調査3】

文化芸術活動にかかわる地域資源についての調査（裏面）

No.	質問																					
鑑賞以外の活動に関すること	<p>あなたは、学校以外で、自分で作品をつくりたり、習い事をしたり地域の祭りに参加したことはありますか。</p> <p>活動したことが「ある」とき <input checked="" type="radio"/> ある</p> <p>→場所や内容を書いて下さい。 <small>場所（〇〇美術館、〇〇ホールなど）内容（絵を描いた、合唱をしたなど）</small></p> <p>活動したことが「ない」とき <input type="radio"/> ない</p>																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>場所や方法</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>作品の創作 <small>（音楽・美術などをつくりだすこと）</small></p>  </td> <td> <p>ある <input checked="" type="radio"/> どこで</p> <p><input type="radio"/> なにを</p> <p>ない</p> </td> <td>わから ない</td> </tr> <tr> <td> <p>作品の展示・発表</p>  </td> <td> <p>ある <input checked="" type="radio"/> どこで</p> <p><input type="radio"/> なにを</p> <p>ない</p> </td> <td>わから ない</td> </tr> <tr> <td> <p>音楽の演奏・出演</p>  </td> <td> <p>ある <input checked="" type="radio"/> どこで</p> <p><input type="radio"/> なにを</p> <p>ない</p> </td> <td>わから ない</td> </tr> <tr> <td> <p>音楽・書道・華道などの習い事</p>  </td> <td> <p>ある <input checked="" type="radio"/> どこで</p> <p><input type="radio"/> なにを</p> <p>ない</p> </td> <td>わから ない</td> </tr> <tr> <td> <p>地域の芸能や祭りへの参加</p>  </td> <td> <p>ある <input checked="" type="radio"/> どこで</p> <p><input type="radio"/> なにを</p> <p>ない</p> </td> <td>わから ない</td> </tr> <tr> <td> <p>その他</p> </td> <td> <p>ある <input checked="" type="radio"/> どこで</p> <p><input type="radio"/> なにを</p> <p>ない</p> </td> <td>わから ない</td> </tr> </tbody> </table>	種類	場所や方法		<p>作品の創作 <small>（音楽・美術などをつくりだすこと）</small></p> 	<p>ある <input checked="" type="radio"/> どこで</p> <p><input type="radio"/> なにを</p> <p>ない</p>	わから ない	<p>作品の展示・発表</p> 	<p>ある <input checked="" type="radio"/> どこで</p> <p><input type="radio"/> なにを</p> <p>ない</p>	わから ない	<p>音楽の演奏・出演</p> 	<p>ある <input checked="" type="radio"/> どこで</p> <p><input type="radio"/> なにを</p> <p>ない</p>	わから ない	<p>音楽・書道・華道などの習い事</p> 	<p>ある <input checked="" type="radio"/> どこで</p> <p><input type="radio"/> なにを</p> <p>ない</p>	わから ない	<p>地域の芸能や祭りへの参加</p> 	<p>ある <input checked="" type="radio"/> どこで</p> <p><input type="radio"/> なにを</p> <p>ない</p>	わから ない	<p>その他</p>	<p>ある <input checked="" type="radio"/> どこで</p> <p><input type="radio"/> なにを</p> <p>ない</p>	わから ない
	種類	場所や方法																				
	<p>作品の創作 <small>（音楽・美術などをつくりだすこと）</small></p> 	<p>ある <input checked="" type="radio"/> どこで</p> <p><input type="radio"/> なにを</p> <p>ない</p>	わから ない																			
	<p>作品の展示・発表</p> 	<p>ある <input checked="" type="radio"/> どこで</p> <p><input type="radio"/> なにを</p> <p>ない</p>	わから ない																			
	<p>音楽の演奏・出演</p> 	<p>ある <input checked="" type="radio"/> どこで</p> <p><input type="radio"/> なにを</p> <p>ない</p>	わから ない																			
	<p>音楽・書道・華道などの習い事</p> 	<p>ある <input checked="" type="radio"/> どこで</p> <p><input type="radio"/> なにを</p> <p>ない</p>	わから ない																			
<p>地域の芸能や祭りへの参加</p> 	<p>ある <input checked="" type="radio"/> どこで</p> <p><input type="radio"/> なにを</p> <p>ない</p>	わから ない																				
<p>その他</p>	<p>ある <input checked="" type="radio"/> どこで</p> <p><input type="radio"/> なにを</p> <p>ない</p>	わから ない																				
4	<p>あなたは、今後どのような文化芸術活動ができればいいと思いますか。できたらいいと思うことを書いてください。</p>																					

【補助資料3】文化芸術活動に関わる地域資源についての調査 説明用資料（表）

【調査3】

【教師用（説明資料）】文化芸術活動にかかわる地域資源についての調査

高等部2年
氏名

記入については、本人による記入
難しい場合、聞き取りによる代筆をお願いします。
回答については、生徒の分かる範囲で回答してください。
教師が追加情報を持っている場合は追記していただければと思います。

場所は
文化会館 童話村 賢治記念館 さくらホール 道の駅
るんびにい美術館 アート@つちざわ 花巻温泉 など

方法は
テレビ、ラジオ、CD、DVD、インターネット（YouTube
Instagram TikTok など）

質問
劇や映画などを鑑賞したことが「ある」とき **ある**

→場所や方法を書いて下さい。場所（〇〇美術館、映画館など）方法（テレビ、CD・DVD、インターネットなど）

鑑賞したことが「ない」とき **ない** 「わからない」とき **わからない**

	種類		場所や方法	
鑑賞活動に関すること	音楽 （オーケストラ、合唱など） オペラ、室内楽、吹奏楽、ジャズ、Jpop、ロック、演歌、民族音楽 ボーカロイド など	ある		わからない
		ない		わからない
	美術作品 （絵・彫刻・書道・など） 絵画、版画、彫刻、陶芸、書、写真 デザイン、建築、服飾 など	ある		わからない
		ない		わからない
	演劇 （人形劇・ミュージカルなど） 現代演劇、児童演劇、ミュージカル など	ある		わからない
		ない		わからない
	踊り （バレエ・ダンスなど） バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンス、ストリートダンス、日本舞踊、民族舞踏など	ある		わからない
		ない		わからない
1	映画 アニメ以外	ある		わからない
		ない		わからない
	アニメ映画・CGアート アニメ映画 メディアアート （コンピュータや映像を活用したアート）など	ある		わからない
		ない		わからない
	伝統芸能 （歌舞伎・鹿踊り・鬼鹿踊り） 鹿踊り、鬼剣舞、歌舞伎、能、狂言 人形浄瑠璃、琴、三味線、尺八 雅楽など	ある		わからない
		ない		わからない
	芸能 （落語・漫才・浪曲） 落語、漫才・コント、手品、大道芸 講談、浪曲 など	ある		わからない
		ない		わからない
	お城・名勝地などの文化財 歴史的な建造物（社寺、城など） 遺跡、名勝地、文化財など	ある		わからない
		ない		わからない
	その他 地域の伝統的な芸能や祭り 花展、盆栽展、茶会展示 食文化の展示など	ある		わからない
		ない	場所は 文化会館 童話村 賢治記念館 さくらホール 道の駅 るんびにい美術館 アート@つちざわ 花巻温泉 〇〇スーパー □〇喫茶店 など	わからない
	鑑賞したものはない はい	はい		わからない
2	あなたは、自分の住んでいる地域（花巻市など）の芸術活動を鑑賞するときは、その場所の名前を書いてください。			

【補助資料3】文化芸術活動に関わる地域資源についての調査 説明用資料（裏）

【調査3】

文化芸術活動にかかわる地域資源についての調査（裏面）

No.	質問	
鑑賞以外の活動に関すること	<p>あなたは、学校以外で、自分で作品をついたり、習い事をしますか。</p> <p>活動したことが「ある」とき ある</p> <p>→場所や内容を書いて下さい。</p> <p>活動したことが「ない」とき ない</p>	
	種類	場所や方法
	<p>作品の創作</p> <p>（音楽・美術・演劇などをつくりだすこと）</p> 	<p>ある</p> <p>どこで</p> <p>なにを</p> <p>ない</p>
	<p>作品の展示・発表</p> 	<p>ある</p> <p>どこで</p> <p>なにを</p> <p>ない</p>
	<p>音楽の演奏・出演</p> 	<p>ある</p> <p>どこで</p> <p>なにを</p> <p>ない</p>
	<p>音楽・書道・華道などの習い事</p> 	<p>ある</p> <p>どこで</p> <p>なにを</p> <p>ない</p>
	<p>地域の芸能や祭りへの参加</p> 	<p>ある</p> <p>どこで</p> <p>なにを</p> <p>ない</p>
	<p>その他</p>	<p>ある</p> <p>どこで</p> <p>なにを</p> <p>ない</p>
4	<p>あなたは、今後どのような文化芸術活動ができればいいと思いますか。できたらいいと思うことを書いてください。</p> <p>描いた絵をたくさんの人に見てほしい</p> <p>アニメを作りたい</p> <p>芸術家と一緒に作品を作りたい など</p>	

【補助資料4】小学部図画工作科学習指導案

小学部図画工作科学習指導案

日時：令和3年8月24日（火）3時間目

9月1日（水）3時間目

9月14日（火）3時間目

対象学級：花巻清風支援学校 小学部

指導者：福田 要（T1[※]）他3名

※8/24のみ 以降は福田T5

1 単元名 ペったんコロコロ / うつしたかたちから

2 内容のまとめ

題材名	領域	
ぺったんコロコロ (造形遊びをする活動)	A表現	ア 線を引く、絵を描くなどの活動 (ア) 材料などから、表したいことを思い付く
	共通事項	ア 「A表現」及び「B鑑賞」 (ア) 自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じに気付く
うつしたかたちから (絵に表す活動)	A表現	ア 線を引く、絵を描くなどの活動 (ア) 材料などから、表したいことを思い付く
	共通事項	ア 「A表現」及び「B鑑賞」 (イ) 形や色を基に、自分のイメージを持つ

3 単元の目標

3つの柱	段階	目標
知識及び技能	1段階	色や形などに気付き、材料や用具を使っている。
	2段階	形や色などの違いに気付き、表したいことを基に材料や用具を使い、表し方を工夫してつくっている。
思考力、判断力、表現力等	1段階	表したいことを思い付いたり、作品を見たりしている。
学びに向かう力、人間性等	1段階	進んで表したり見たりする活動に取り組み、作りだすことの楽しさに気付くとともに形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする態度を養う。

4 単元について

(1) 児童について

ア 前単元及び遊びの指導を通して身の回りの自然物などに触れながらかく、ぬる、はるなど学習を行ってきた。

イ これまでの学習の中で教員や友達の活動を観察し、経験と結び付けて、かく、ぬる、はる、裂く、押すなどの動作を組み合わせていくという学習経験がある。

ウ 経験を重ねる中で、表したり見たりする活動に見通しをもち、活動を楽しんだり、表した形に意味付けをしたりしていくことが身についている。

エ 指示の理解については、個人差があり、言葉とともに実物や絵や写真を用いて手順を示すことで活動することができる児童から、適宜、教員のモデリングを必要とする児童、教員の師範や友達の取り組みをじっくりと観察することで見通しをもち活動できる児童がいる。そのため、新たな活動に取り組む際は、個々の児童に合わせた題材の設定や活動構成、個に合わせた支援が必要である。

(2) 教材観

ア 本教材は材料に絵の具を付けて形を写す時の感覚や行為を通して、いろいろな形や色、触った感じなどに気付くことができるという特徴があり、遊びを通して造形的な見方・考え方を働かせることができる。

【補助資料4】小学部図画工作科学習指導案

ている。どちらの場合であっても、教科における資質・能力の育成にむけた児童の実態に合わせた目標・内容の設定、目標達成に向けた支援の在り方、教員間での共通認識が重要である。また、作品作りにとどまらず、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を育成することが大切であるとする。

そこで、単元に関わる児童の実態把握を、図画工作科・美術科における児童の実態についての調査を活用して行う。実態把握を受け、学習指導要領に示された目標・内容の一覧〔図画工作科〕〔美術科〕を活用して目標と内容を設定する。小学校で取り組まれている、造形遊びを取り入れ児童が感覚や行為を通して形や色などの感じに気付いたり、自分のイメージをもったりする活動に双方向に取り組むことができる本単元を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、形や色などと豊かに関わるための知識及び技能等の育成について見取することを目的とする。

5 評価の観点を踏まえた児童の実態 別紙

6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>知識：共通</p> <ul style="list-style-type: none"> 材料に絵の具を付けて形を写す時の感覚や行為を通して、いろいろな形や色に気付いている。 <p>技能：</p> <p>A表現 造形遊びをする活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ローラーやスタンプの用具に十分に慣れるとともに、写してできる模様を並べたり、つないだりする手の感覚などを働かせ、活動を工夫している。 <p>A表現 絵に表す活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ローラーやスタンプの用具に十分に慣れるとともに、写してできる模様を並べたり、つないだりする手の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表している。 	<p>A表現 造形遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな形や色、触った感じなどを基に、自分のイメージを持ちながら、造形的な活動を思い付き、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するかについて考えている。 <p>A表現 絵に表す活動</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな形や色などを基に、自分のイメージを持ちながら、形を写しながら感じたこと、想像したことから表したいことを見付け、好きな方や色を選んだり、いろいろな形や色を考えながら、どのように表すかについて考えている。 	<p>A表現 造形遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> つくりだす喜びを味わい楽しく体全体を使って、いろいろな材料の形を写す学習活動にとり組もうとしている。 <p>A表現 絵に表す活動</p> <ul style="list-style-type: none"> つくりだす喜びを味わい、楽しく写したものの形や色から思い付いたことを表す学習活動に取り組もうとしている。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>身近で扱いやすい材料や用具に十分に慣れるとは、材料や用具を安全に使いながら、その扱いに慣れることである。小解説【図工】P46</p> </div>

7 目標と児童の学習の状況

児童	本単元の目標 【段階】		(特) 特徴及び困難さ (支) 支援の方策
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	
児童A	形や色などの違いに気付く、身の回りの自然物などに触れながらかく、ぬる、はるなどをする。	形や色などを基に、自分の感覚や行為とともにイメージをもちながら、材料などから、表したいことを思い付く。	(特) 刺激（声・周りの様子）に気をとられやすい。経験したことがないことに対して不安感が強い。 (支) 場の構造化により、活動と場を対応させ環境を整理する。新たにに取り組む活動では、身近な材料を多く用い、適宜モデルを示す。
児童B	形や色などの違いに気付く、身の回りの自然物などに触れながらかく、ぬる、はるなどをする。	形や色などを基に、自分の感覚や行為とともにイメージをもちながら、材料などから、表したいことを思い付く。	(特) 好きな材料や色、用具を選びながら、制作に没頭する。制作に没頭するあまり体調不良についても訴えが遅れることがある。 (支) 思う存分取り組むことができるよう、好みそうな色、材料を用意する。動作が緩慢になった際は声を掛け、休憩を促す。
児童C	形や色などの感じに気付く、身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくったりする。	形や色などを基に、自分の感覚や行為とともにイメージをもちながら、材料などから、表したいことを思い付く。	(特) 好きな材料や色、用具を選び工夫しながら自分で作り進める。材料を全て使い切る、早くやり終えることにこだわる傾向がある。視覚優位の傾向あり。 (支) 材料を選ぶ時は、1度を選ぶ個数を制限するなど条件を提示し、思考・選択の過程を促す。制作方法の例示や画面の変化に関する振り返りをする際モニターディスプレイを活用し画像等を提示する。

【補助資料4】小学部図画工作科学習指導案

児童 D	形や色などの違いに気付 き、身の回りの自然物に 触れながら、切る、ぬ る、はるなどをする。	形や色などを基に、自分の感覚や 行為とともにイメージをもちなが ら、材料などから、表したいこと を思い付くことができる。	<p>④音に対する過敏さがある。また、見通しが持てないこ とに対する不安感が強い。</p> <p>色に対するこだわり（ペンやペグを並べる）がある。</p> <p>⑤声掛けは最小限にし、教員が個別対応し、作り方を具 体物や手本で示す。</p> <p>繰り返しの活動にしたり、活動量を明確に示したりする。 状況に応じ活動量を調節する。</p>
児童 E	形や色などについて気付 き、身の回りの自然物な どに触れながらかく、ぬ る、はるなどをする。	形や色などを基に、自分の感覚や 行為とともにイメージをもちなが ら、材料などから、表したいこと を思い付く。	<p>④周りの様子に注意が散漫になり易く、手元から目を離 してしまふ傾向がある。</p> <p>興味関心の幅が狭い。</p> <p>特定の色（黄色）や操作（物の移動）に関心を示す。</p> <p>自分の行動・経験から学ぶ傾向あり</p> <p>⑤材料や色、活動を選ぶ際は、好みそうなものを含めた 2～3択にして提示し、注視と自己選択を促す。</p>
児童 F	形や色などの違いに気付 き、身の回りの自然物に 触れながら、切る、ぬ る、はるなどをする。	形や色などを基に、友達の活動の 様子等を観察したり、自分の行為 とともにイメージを持ったりしな がら、表したいことを思い付く。	<p>④感覚の過敏さがあり、刺激（声掛け・周りの様子）対 して過敏に反応することがある。また、気候や気温の 変化に敏感で集中を持続することが難しいことがあ る。</p> <p>周りの状況をよく見ており、見通しをもつことができる。</p> <p>他者の活動を観察し、学ぶことができる</p> <p>⑤場の構造化により、教員が適宜個別対応し、実際に目 の前で手本を示す。</p> <p>制作方法の例示や画面の変化に関する振り返りをする際 モニターディスプレイを活用し画像や映像を提示する。</p> <p>活動と場を対応させ環境を整理する。リソーススペース からも友達の活動を観察できるような配置とする。</p>
児童 G	形や色などの違いに気付 き、身の回りの自然物に 触れながら、切る、ぬ る、はるなどをする。	形や色などを基に、自分の感覚や 行為とともにイメージをもちなが ら、材料などから、表したいこと を思い付く。	<p>④感覚の過敏さがあり、刺激（音）に対して過敏に反応す ることがある。また、気候や気温の変化に敏感で集中 を持続することが難しいことがあ る。</p> <p>友達の活動の様子をよく見ており、見通しをもつことが できる。</p> <p>材料や用具を使い方や表現方法と関連させて覚えていく 傾向がある。</p> <p>⑤絵の具に直に触れる時など感触に抵抗感を示した際 は、用具を用いる。</p> <p>見る・活動するなど場所と活動を関連付け、教員が適宜 補助しながら制作を行う中で、活動に見通しをもてるよ うにする。</p> <p>制作方法の例示や画面の変化に関する振り返りをする際 モニターディスプレイを活用し画像等を提示する。</p>

学びに向かう力、人間性等

【1段階】進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする態度を養う。

8 単元の指導計画

各時間の主な学習内容

評価規準【評価の場面】

時	児童A	児童B	児童C	児童D	児童E	児童F	児童G
1	材料の特性を生かしながら、形を表すことを楽しむ。						
	<p>知・技 身近な材料に触れ、用具を選ぼうとしている。 画面に材料の形をローラーやスタンプングで写そうとしている。 【造形遊び】</p>	<p>知・技 様々な材料に触れ、用具を選ぼうとしている。 画面に材料の形をローラーやスタンプングで写そうとしている。 【造形遊び】</p>	<p>知・技 様々な材料に触れ、形や色の感じに気付き、用具を選ぼうとしている。 画面に材料の形を工夫して写そうとしている。 【造形遊び】</p>	<p>知・技 教員と一緒に様々な材料に触れ、用具を選ぼうとしている。 画面に材料の形をローラーやスタンプングで写そうとしている。 【造形遊び】</p>	<p>知・技 教員に提示された材料の中から、用具を選ぼうとしている。 画面に材料の形をローラーやスタンプングで教員と一緒に写そうとしている。 【造形遊び】</p>	<p>知・技 教員に提示された様々な材料に触れ、用具を選ぼうとしている。 友達の活動を参考にし、画面に材料の形をローラーやスタンプングで形を写そうとしている。 【造形遊び】</p>	<p>知・技 教員に提示された様々な材料に触れ、用具を選ぼうとしている。 画面に材料の形をローラーやスタンプングで形を写そうとしている。 【造形遊び】</p>
主体的に学習に取り組む態度 つくりだす喜びを味わい、いろいろな材料の形を写す学活動に取り組もうとしている。【造形遊び】							
2	使う材料やうつし方を工夫して新しい形をつくりだす。						
	<p>知・技 材料や色を選び、形を写している。 思・判・表 材料などから表したいことを教員と一緒に考え、思いついている。 (形に注目し、重ねる、ずらす、並べるなど。 色に注目し、同色にする、変えるなど。) 【造形遊び】</p>	<p>知・技 材料や色を選び、形を写している。 思・判・表 材料などから表したいことを思いついている。 (形に注目し、重ねる、ずらす、並べるなど。 色に注目し、同色にする、変えるなど。) 【造形遊び】</p>	<p>知・技 様々な材料に触れ、形や色の感じに気付き、形を写している。 思・判・表 材料などから表したいことを思いついている。 (形に注目し、重ねる、ずらす、並べるなど。 色に注目し、同色にする、変えるなど。) 【造形遊び】</p>	<p>知・技 教員と一緒に、材料や色を選び、形を写している。 思・判・表 材料などから表したいことを思いついている。 (形に注目し、重ねる、ずらす、並べるなど。 色に注目し、同色にする、変えるなど。) 【造形遊び】</p>	<p>知・技 選択肢から材料や色を選び、形を写している。 思・判・表 材料などから表したいことを教員と一緒に考え、思いついている。 (形に注目し、重ねる、ずらす、並べるなど。 色に注目し、同色にする、変えるなど。) 【造形遊び】</p>	<p>知・技 材料や色を選び、形を写している。 思・判・表 友達の活動を参考にし、材料などから表したいことを思いついている。 (形に注目し、重ねる、ずらす、並べるなど。 色に注目し、同色にする、変えるなど。) 【造形遊び】</p>	<p>知・技 材料や色を選び、形を写している。 思・判・表 材料などから表したいことを教員と一緒に考え、思いついている。 (形に注目し、重ねる、ずらす、並べるなど。 色に注目し、同色にする、変えるなど。) 【造形遊び】</p>
主体的に学習に取り組む態度 つくりだす喜びを味わい、いろいろな材料の形を写す学活動に取り組もうとしている。【造形遊び】							
3	材料の特性を生かしながら、工夫して形を表すことを楽しむ。						
	<p>思・判・表 画用紙の形や材料などから表したいことを思いついている。 【絵に表す活動】</p>	<p>思・判・表 画用紙の形や材料などから表したいことを思いついている。 【絵に表す活動】</p>	<p>思・判・表 画用紙の形や材料などから表したいことを思いついている。 【絵に表す活動】</p>	<p>思・判・表 教員と一緒に、画用紙の形や材料などから表したいことを思いついている。 【絵に表す活動】</p>	<p>思・判・表 教員に提示された画用紙の形や材料などから表したいことを思いついている。 【絵に表す活動】</p>	<p>思・判・表 教員に提示された画用紙の形や材料などから表したいことを思いついている。 【絵に表す活動】</p>	<p>思・判・表 教員に提示された画用紙の形や材料などから表したいことを思いついている。 【絵に表す活動】</p>
主体的に学習に取り組む態度 つくりだす喜びを味わい、いろいろな材料の形を写す学活動に取り組もうとしている。【絵に表す活動】							

9 展開（全3時間）

(1) 1/3時 材料の特性を生かしながら、形を表すことを楽しむことができる。

学習活動 ・学習内容（時間）	○指導上の留意点 ☆支援 評価						
	児童A	児童B	児童C	児童D	児童E	児童F	児童G
<p>1 あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> 話を聞くスペースに移動し着席する。 <p>2 内容確認</p> <p>(1) 活動の見通しをもつ。 (3分)</p> <p>(2) 写してできる形の面白さを知る。(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 材料や絵の具の配置、使い方、活動の場などについて確認する。 <p>3 造形遊び (25分)</p>	<p>○活動と場を整理する。話を聞くスペースには、イスのみを配置する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ぺったんコロコロ ～いろいろな材料で形を写してみよう～</p> </div> <p>○活動への意欲が喚起されるよう、教員が実物を用いて例を示す。 材料を選ぶ→絵の具を付ける→形を写すという手順を知らせる。 また1～2名ずつ、順番に制作に取り組むことを知らせる。</p> <p>○モニターディスプレイを用いて注目してほしい部分への注視を促す。 同じ材料を用いても、写す向きや力加減によって、形や表情が違うことを提示する。</p>						
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【学習課題】材料の特性を生かしながら、形を表すことを楽しむ。</p> </div> <p>(1) 材料を選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 材料の中から、形を写すための用具を選ぶ。 順番に従い、制作を数回繰り返す。 	<p>○模造紙（2×2枚）を敷き、活動が見えるように待機用の座席を配置する。</p> <p>○児童A～児童C（T2）、児童D～児童G（T3、T4）の2グループに分かれ待機する。</p> <p>○（1）材料を選ぶ （2）形を写す は連続した活動とする。</p>		<p>材料の種類や大きさ、色ごとに仕分けして環境を整理し、身近な材料に触れ、用具を選ぶことができるようにする。</p>	<p>☆（T3） 様々な用具を手にとることができるように、教員が児童と一緒に材料に触れ、経験の拡大を図る。</p>	<p>☆（T3・4） 材料を選ぶことができるように、選択肢を絞って提示する。</p>	<p>☆（T3・4） 様々な用具を手にとることができるように、教員が児童と一緒に材料に触れ、経験の拡大を図る。</p>	<p>☆（T4） 様々な用具を手にとることができるように、教員が児童と一緒に材料に触れ、経験の拡大を図る。</p>

<p>(2) 形を写す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気付きをもとに指や手、身近な素材やローラーなどを使い工夫しながら、いろいろな形を写して楽しむ。 	<p>評価【知・技①】 様々な材料に触れ、用具を選ぼうとしている。</p> <p>○児童が楽しさやイメージを持てるよう活動とあわせ、「ペタペタ」「コロコロ」などを言語化して提示する。</p> <p>○適宜、T1及びT2以下の教員が傍で共に活動し、同じ素材でも向きを変えたり、転がしてみたり、力加減を変えることで写す形の感じが違うことに気付けるよう例示していく。</p>										
	☆(T2)	ローラーやスタンプングなどを使い工夫して形を写すことができるように、友達の活動への注目促し自発的な活動を見守る。	ローラーやスタンプングなどを使い工夫して形を写すことができるように、友達の活動への注目促し自発的な活動を見守る。	☆(T3)	ローラーやスタンプングで形を写すことができるように、教員と一緒に活動し経験の拡大を図る。	☆(T3・4)	ローラーやスタンプングで形を写すことができるように、教員と一緒に活動し行動を促す。	☆(T3・4)	ローラーやスタンプングで形を写すことができるように、友達の活動への注目促し行動を促す。	☆(T4)	ローラーやスタンプングで形を写すことができるように、教員と一緒に活動し気付きを促す。
<p>4 片付け (5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用具を種類ごとに仕分け、元あった場所に戻す。 <p>5 振り返り (5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写してできた表現を皆で鑑賞する。 <p>6 あいさつ</p>	<p>評価【知・技①】 材料を使いローラーやスタンプングで画面に軌跡を残しているかを確認する。〔観察・表した形〕</p> <p>○モニターディスプレイを用いて、制作の様子について紹介する。</p> <p>○形や色、模造紙の画面の変化について気付くことができるよう定点からの映像も提示する。</p> <p>☆映像を基に、児童の行動や気持を言語化して活動を整理できるようにする。</p>										

(2) 2/3時 使う材料や写し方を工夫して新しい形をつくりだすことができる。

学習活動 ・学習内容 (時間)	○指導上の留意点 ☆支援 評価						
	児童A	児童B	児童C	児童D	児童E	児童F	児童G
1 あいさつ ・話を聞くスペースに移動し着席する。 2 内容確認 (1) 前回の活動を振り返る。 (3分) ・前回の活動の様子について映像で振り返る。 (2) 活動の見通しをもつ。 (1分) (3) 写してできる形や色の面白さを知る。(3分) ・様々な写しかたに気付く。 3 造形遊び (25分)	○活動と場を整理する。話を聞くスペースには、イスのみを配置する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> ペったんコロコロ～いろいろな材料で形を写してみよう～ </div> ○モニターディスプレイを用いて注目してほしい部分への注視を促す。 材料を選ぶ→絵の具を付ける→形を写すという手順を再度提示する。 グループ毎に分かれて制作に取り組むことを知らせる。 ○追加した材料や絵の具の説明や活動の場の使い方について確認する。 ○並べる、つなげる、重ねる例をアニメーション(ストップモーション)で提示する。						
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 【学習課題】 使う材料や写し方を工夫して新しい形をつくろう。 </div> (1) 形を写す。(10分)	○2グループに分かれ、お互いの活動が見えるように座席を配置する。 支持体の大きさは模造紙1枚とする 様々な材料から好きな形や色を選ぶことができるように、材料の種類や大きさ、色ごとに仕分けし環境を整理する。						
			☆(T2) 形を写す活動に見通しを持てるように、教員が児童と一緒に形を写す活動を行う。	☆(T2・3) 材料や色を選び、形を写すことができるように、声掛けと併せて選択肢や例を提示する。	☆(T2・3) 材料や色を選び、形を写すことができるように、適宜教員が声を掛け行動を促す。	☆(T3) 材料や色を選び、形を写すことができるように、適宜教員が声を掛け行動を促す。	

<p>(2) 児童による実演。(3分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達や自分の制作活動を鑑賞し、新しい表現方法を思い付くためのきっかけを得る。 <p>(3) 形を写す。(12分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思い付いたことを試したり、いろいろな形を見つけ、新しい形をつくりだす。 ・指や手、身近な素材やローラーなどを使い工夫しながら、いろいろな形を写して楽しむ。 	<p>評価【知・技②】 材料や色を選び、形を写している。〔観察・表した形〕</p> <p>○活動の途中に互いの表現に気付くことができるように、活動の様子をモニターディスプレイに投影する。</p> <p>○活動に、「ペタペタ」「コロコロ」など音をつけることで、楽しさやイメージを伝わるようにする。</p> <p>○児童が楽しさやイメージを持てるよう活動とあわせ、「ペタペタ」「コロコロ」などを言語化して提示する。</p> <p>○適宜、T1及びT2以下の教員が傍で共に活動し、同じ素材でも向きを変えたり、転がしてみたり、力加減を変えることで写す形の感じが違うことに気付けるよう例示していく。</p>					
	<p>☆(T1・4) 材料などから表したいことを思い付くことができるよう、動作や声掛けをして学習した内容の想起を促す。</p>	<p>材料などから表したいことを思い付くことができるように、画面の変化や友達の活動に注目させ、気付きを促す。</p>	<p>材料などから表したいことを工夫することができるように、画面の変化や友達の活動に注目させ、気付きを促す。</p>	<p>☆(T2) 材料や写した形から表したいことを思い付くことができるように、例を提示し気付きを促す。</p>	<p>☆(T2・3) 材料や写した形から表したいことを思い付くことができるように、声を掛けながら例を提示し気付きを促す。</p>	<p>☆(T2・3) 友達の活動を参考に表し方を思い付くことができるよう、友達の活動に注目する時間を保証する。</p>
<p>4 片付け(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用具を種類ごとに仕分け、元あった場所に戻す。 <p>5 振り返り(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写してできた表現を皆で鑑賞する。 <p>6 あいさつ</p>	<p>評価【思・判・表②】 材料などから形に注目し、重ねる、ずらす、並べるなど。色に注目し、同色にする、変えるなど表したいことを思いつていることを確認する。〔観察・写した形〕</p> <p>○モニターディスプレイを用いて、制作の様子について紹介する。</p> <p>○形や色、模造紙の画面の変化について気付くことができるよう定点からの映像も提示する。</p> <p>☆映像を基に、児童の行動や気持ちを言語化して活動を整理できるようにする。</p>					

(3) 3 / 3時 材料の特性を生かしながら、いろいろ工夫して形を表すことを楽しむことができる。

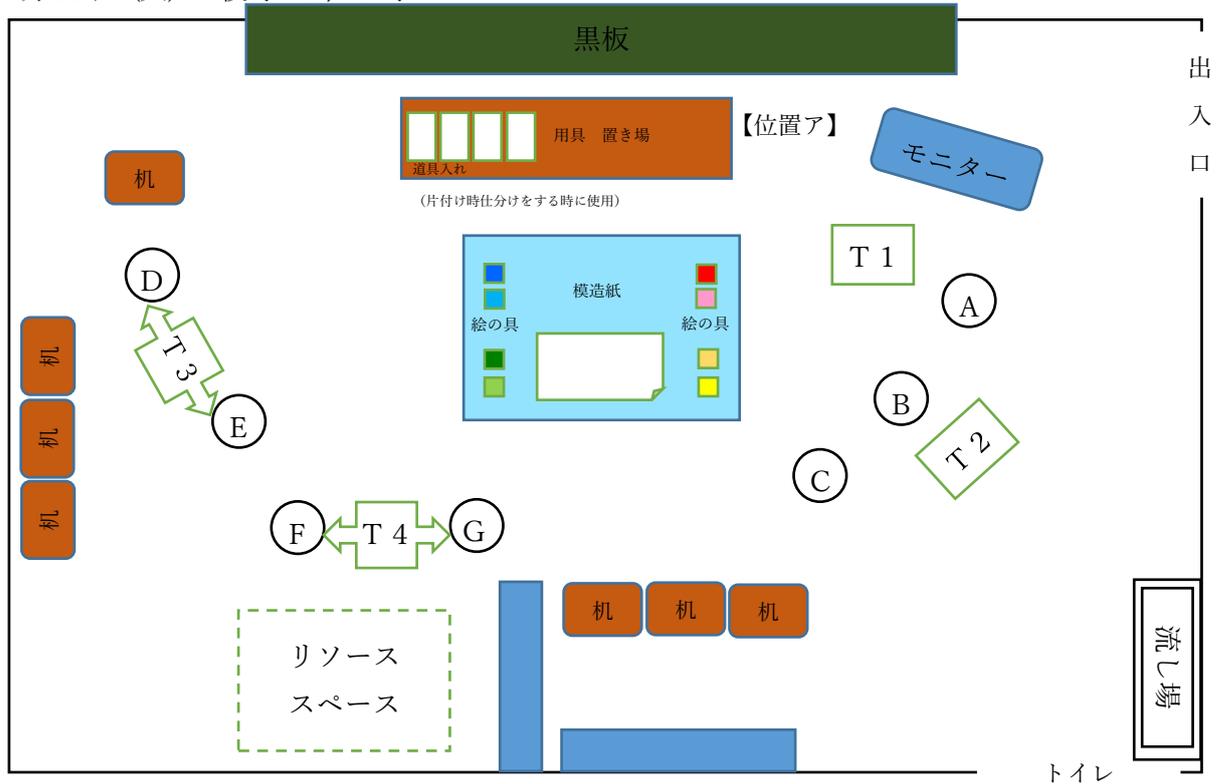
学習活動 ・学習内容（時間）	○指導上の留意点 ☆教員の支援 評価						
	児童A	児童B	児童C	児童D	児童E	児童F	児童G
<p>1 あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> 話を聞くスペース移動しに着席する。 <p>2 内容確認</p> <p>(1) 活動の見通しをもつ。 (5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 前回の活動の様子について映像で振り返る。 材料や用具の配置、使い方、活動の場などについて知る。 <p>3 絵に表す活動 (25分)</p>	<p>○活動と場を整理する。話を聞くスペースには、イスのみを配置する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>うつしたかたちから～いろいろな材料を写して絵に表してみよう～</p> </div> <p>○モニターディスプレイを用いて注目してほしい部分への注視を促す。 材料を選ぶ→絵の具を付ける→形を写すという手順を再度提示する。 写した形を組み合わせて、様々な形ができること例示する。</p> <p>○前回までの作品の一部を拡大して提示し、様々な形について連想される言葉を示し、イメージを膨らませる。</p> <p>○追加した要素（画用紙についても自分で選ぶこと）について説明する。</p>						
<p>(1) 画用紙を選ぶ。(3分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な大きさ、形の画用紙の中から自分の好きな形を選ぶ。 写した形や色から思い付いたことを絵に表す。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【学習課題】材料の特性を生かしながら、いろいろ工夫して形を表すことを楽しむ。</p> </div> <p>○名刺から8切サイズ、四角や円、三角など様々な大きさ、形の画用紙を用意しておく。</p> <p>○必要に応じて、個々の児童の活動量にあった大きさの画用紙を選択肢として抽出しておく。</p> <p>○初めから表したいことを思い付いていなくとも、写したものの形や色から思い付いたことを表してもよいということを児童・教員ともに確認しておく。</p> <p>イメージに合わせて、クレヨン・パス、マーカーでさらに書き加えてもよいことを伝える。</p>						

<p>(2) いろいろな材料で写すことを楽しみながら写した形や色から思い付いたことを絵に表す。(15分)</p>	<p>画用紙の形や材料などから、表したいことを思い付くことができるように、今までの作品や技法を想起させるための例示や声掛けをする。</p>	<p>画用紙の形や材料などから、表したいことを思い付くことができるように、今までの技法を例示したりや友達の活動を注目させたりすることで、表現の工夫を促す。</p>	<p>画用紙の形や材料などから、表したいことを思い付くことができるように、今までの技法を例示したりや友達の活動を注目させたりすることで、表現の工夫を促す。</p>	<p>☆ (T2) 画用紙の形や材料などから表したいことを思い付くことができるように、教員が児童と一緒に形を写す活動を行う。</p>	<p>☆ (T2・3) 形を写すことを楽しみながら表したいことを思い付くことができるように、声掛けと併せて選択肢や例を提示する。</p>	<p>☆ (T2・3) 活動の中で表したいことを思い付くことができるように、うつした形による画面の変化に注目させ気付きを促す。</p>	<p>☆ (T3) 活動の中で表したいことを思い付くことができるように、うつした形による画面の変化に注目させ気付きを促す。</p>
	<p>評価【思・判・表③】自分が行ったことを通して捉えた、形、線、色などを基に、画用紙の形や材料などから表したいことを思いついている姿を確認する。〔観察・作品〕</p>						
<p>(3) 展示準備 (7分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出来上がった作品を台紙に貼り付け、額を付けて展示の準備をする。 	<p>○前回までの作品は、20cm 四方程度の大きさにカットし台紙または壁面装飾に使用する。 ○額は段ボールで作成しておく。</p>						
<p>4 展示 (10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廊下の壁面にできた作品を展示する。 ・写してできた表現を皆で鑑賞する。 	<p>○グループ毎に1名ずつ展示を行う。</p>						
<p>5 あいさつ</p>							

【補助資料4】小学部図画工作科学学習指導案

10 配置図

(1) 8月24日(火) 3校時 1/3時



配置に関わる留意事項

- ・ 友達の行う活動を見ることができるよう、活動のスペースを教室中央に配置。
- ・ 座って見ている児童が画面の変化に注目できるよう、支持体は、模造紙2枚をつなげ床に直接置く。
- ・ 支持体は、絵の具の定着が比較的早く、スタンピング等による在質感が表現できるラシャ紙に変更
- ・ 動線が他の児童の妨げとならないように用具置き場一カ所に配置。
- ・ 児童Dに対する個別学習スペース(机1)の確保及び不穏時に落ち着くためのスペース(リソーススペース)を配置。なお活動スペースは、リソーススペースからでも活動を見ることができよう配慮する。
- ・ 活動内容の説明及び振り返りの際、映像で確認できるようカメラは可動式(iPhone)固定定点(iPad)【位置ア】で撮影。モニターを使用し、映像を提示。

説明：実際の様子を投影したもの。

振り返り：制作過程を静止画で撮影しアプリケーションStop Motionで編集したもの。

児童の支援(T Tの役割分担)

T 1：全体指示、技術補助

T 2：児童A・児童B・児童Cに対する声掛けや促し

T 3：児童D・児童E・児童F・児童Gに対する指示や声掛け

児童Dに対する具体的な指示・不穏時の個別対応

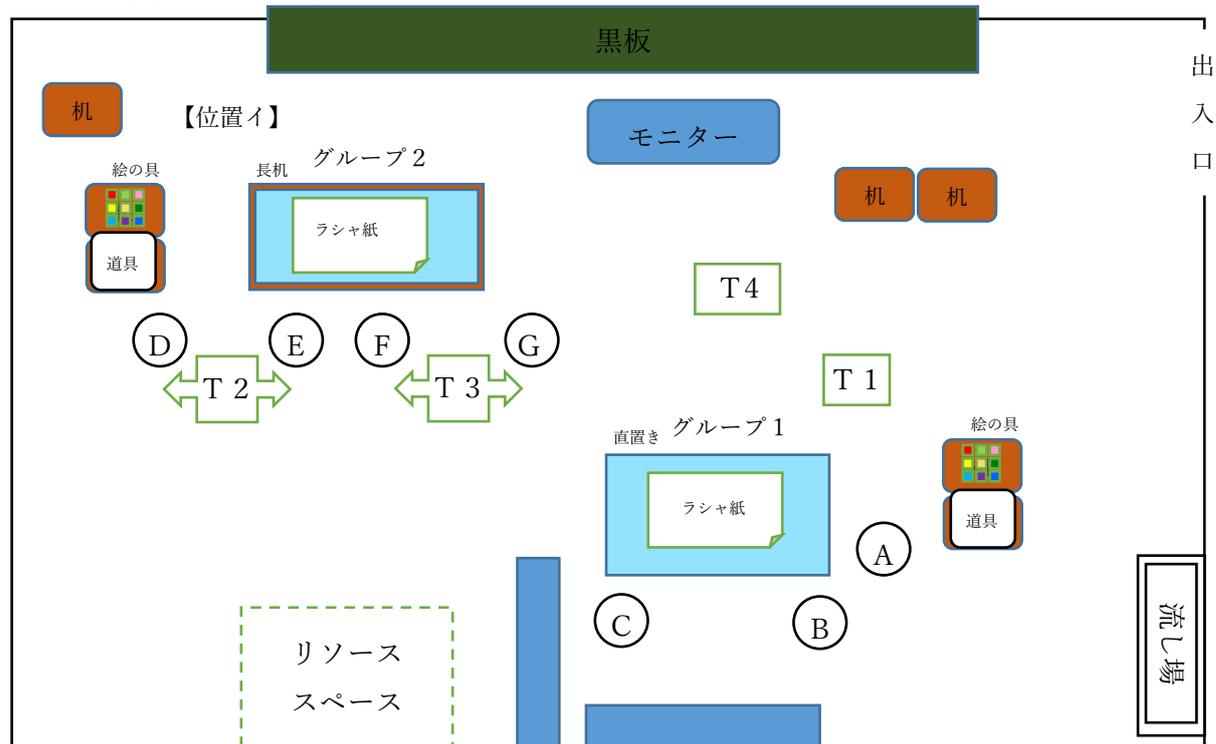
児童Eに対する声掛け・技術面での支援(手を添えるなど)

T 4：児童F・児童Gへの声掛けや見守り

児童Fに対する具体的な指示・不穏時の個別対応

【補助資料4】小学部図画工作学習指導案

(2) 9月1日(水) 3校時 2/3時



配置に関わる留意事項

トイレ

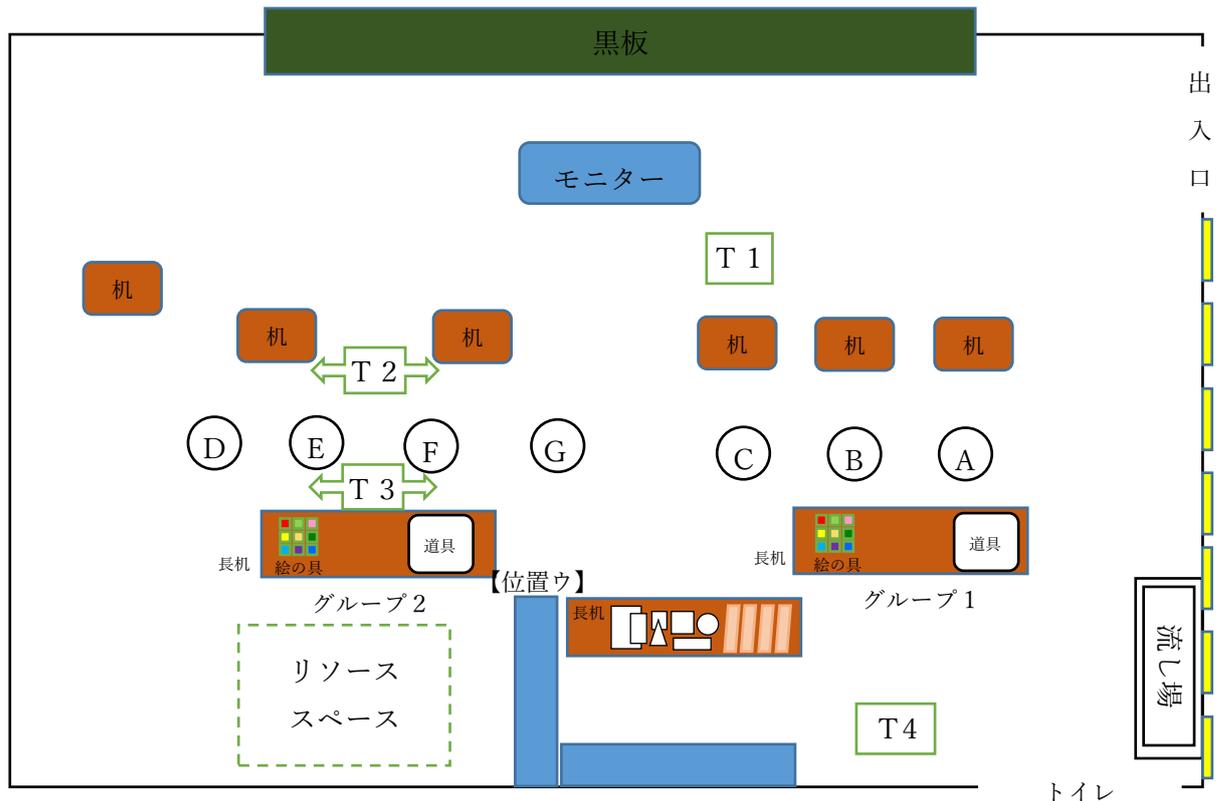
- ・ 3 造形遊びでは、実態に応じて2グループに分かれ活動する。
 グループ1：小集団への支援（活動の見守りを主として、必要に応じて説明や活動への促し等を行う）
 座って見ている児童が画面の変化に注目できるように、支持体は、床に直接置く。
 グループ2：個別支援（個に応じ、指示や選択肢の提示、技能面での補助を行う）
 活動に際し、しゃがむ・立つ動作を軽減し立ったまま形を写す動作に専念できるように、長机を設置。定点カメラを長机に設置し【位置イ】、活動時は常時モニターに投影。
- ・ 各グループとも材料を選ぶ・色を選ぶ（つける）・形を写す動作の流れを考慮し、用具と絵の具の置き場並べて支持体の近くに設置。
- ・ 児童Dに対する個別学習スペース（机1）の確保。
- ・ 児童が不穏時に落ち着くためのスペース（リソーススペース）を配置。
- ・ 活動内容の説明及び振り返りの際、映像で確認できるようにカメラは可動式（iPhone）固定定点（iPad）【位置イ】で撮影。モニターを使用し、映像を提示。

児童の支援(T Tの役割分担)

- T 1：全体指示 T 4：技術面補助、各グループ巡回支援
- T 1（グループ1）：児童A・児童B・児童Cに対する声掛けや促し
- T 2（グループ2）：児童D・児童E・児童F・児童Gに対する指示や声掛け
 児童Dに対する具体的な指示・不穏時の個別対応
 児童Eに対する声掛け・技術面での支援（手を添えるなど）
- T 3（グループ2）：児童F・児童Gへの声掛けや見守り
 児童Fに対する具体的な指示・不穏時の個別対応

【補助資料4】小学部図画工作科学習指導案

(3) 9月14日(火) 3校時 3/3時



配置に関わる留意事項

- ・ 3 絵に表す活動では、実態に応じて2グループに分かれ活動する。
 グループ1：小集団への支援
 グループ2：個別支援
- ・ 画用紙に形を写すため机上での制作とし、長机を用いる。
- ・ 各グループとも台紙を選ぶ・材料を選ぶ・色を選ぶ(つける)・形を写す動作の流れを考慮し、用具と絵の具の置き場支持体を隣接させて設置。
- ・ 児童Dに対する個別学習スペース(机1)の確保。
- ・ 児童が不穏時に落ち着くためのスペース(リソーススペース)を配置。
- ・ 活動内容の説明及び振り返りの際、映像で確認できるようカメラは可動式(iPhone)固定定点(iPad)【位置ウ】で撮影。モニターを使用し、映像を提示。

児童の支援(TTの役割分担)

- T1：全体指示
- T1(グループ1)：児童A・児童B・児童Cに対する声掛けや促し
- T2(グループ2)：児童D・児童E・児童F・児童Gに対する指示や声掛け
 児童Dに対する具体的な指示・不穏時の個別対応
 児童Eに対する声掛け・技術面での支援(手を添えるなど)
- T3(グループ2)：児童F・児童Gへの声掛けや見守り
 児童Fに対する具体的な指示・不穏時の個別対応
- T4：技術面補助、各グループ巡回支援

図画工作科における児童の実態調査結果(一覽)

8月実施

観 点	内容	児童 A		児童 B		児童 C		児童 D		児童 E		児童 F		児童 G	
		実態(%) 0 50 75	支援 0 50 75												
知 識	1	100%	個小材環 100%	100%	個小材環 100%	100%	個小材環 100%	75%	個小材環 75%	50%	個小材環 50%	100%	個小材環 100%	75%	個小材環 75%
	2	100%	個小材環 100%	100%	個小材環 100%	100%	個小材環 100%	75%	個小材環 75%	75%	個小材環 75%	100%	個小材環 100%	50%	個小材環 50%
	3	100%	個小材環 100%	100%	個小材環 100%	100%	個小材環 100%	75%	個小材環 75%	75%	個小材環 75%	100%	個小材環 100%	25%	個小材環 25%
技 能	1	75%	個小材環 75%	75%	個小材環 75%	75%	個小材環 75%	25%	個小材環 25%	50%	個小材環 50%	75%	個小材環 75%	50%	個小材環 50%
	2	50%	個小材環 50%	75%	個小材環 75%	100%	個小材環 100%	50%	個小材環 50%	50%	個小材環 50%	75%	個小材環 75%	25%	個小材環 25%
	3	25%	個小材環 25%	75%	個小材環 75%	75%	個小材環 75%	25%	個小材環 25%	50%	個小材環 50%	25%	個小材環 25%	50%	個小材環 50%
思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	1	50%	個小材環 50%	100%	個小材環 100%	100%	個小材環 100%	50%	個小材環 50%	50%	個小材環 50%	50%	個小材環 50%	50%	個小材環 50%
	2	50%	個小材環 50%	75%	個小材環 75%	100%	個小材環 100%	50%	個小材環 50%	50%	個小材環 50%	50%	個小材環 50%	50%	個小材環 50%
	3	50%	個小材環 50%	75%	個小材環 75%	100%	個小材環 100%	50%	個小材環 50%	50%	個小材環 50%	50%	個小材環 50%	25%	個小材環 25%
主 体 的 に 学 習 に 関 与 す る 態 度	1	100%	個小材環 100%	100%	個小材環 100%	100%	個小材環 100%	25%	個小材環 25%	100%	個小材環 100%	100%	個小材環 100%	100%	個小材環 100%
	2	100%	個小材環 100%	100%	個小材環 100%	100%	個小材環 100%	25%	個小材環 25%	75%	個小材環 75%	100%	個小材環 100%	75%	個小材環 75%
	3	75%	個小材環 75%	100%	個小材環 100%	100%	個小材環 100%	25%	個小材環 25%	50%	個小材環 50%	50%	個小材環 50%	100%	個小材環 100%

生徒の実態(あてはまらない0%~あてはまる100%)
 必要な支援 個:個別対応(教員が個別に行う具体的な働きかけ)
 小:小集団への支援(教員が複数名の人数を対象に行う具体的な働きかけ)
 材:題材・材料(個に合わせた題材・材料・用具の準備)
 環:環境(学習環境の整理や構造化)

【補助資料5】PDCAシートによる授業改善（小学部第1時）

3 単元・題材の指導計画と主たる学び	
目指す主体的な姿	
使う材料や写し方を工夫して新しい形をつくりだすことができる。	学びに向かう力、人間性等
材料や色を選び形を写している。	進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付く。
本時の目標	思考力、判断力、表現力等
材料や色を選ばず形を写している。	材料などから表したいことを思いついている。 (形に注目し、重ねる、ずらす、並べるなど。色に注目し、同色にする、代えるなど。)

小単元名	目標	学習内容	手立て・支援	評価(形成的評価)	手立て・支援の改善案
べったん コロコロ1	※ () は関連する教科 材料の特性を生かしながら、形を表すことを楽しむ。 材料の特性を生かしながら、形を表すこと	【学習内容の確認】 写してできる形の面白さを知る。 【造形遊び】 材料を選ぶ 材料の中から、形を写すための用具を選ぶ。 形を写す 指や手、身近な素材やローラーなどを使い工夫しながら、いろいろな形を写して楽しむ。	手立て・支援 ○：適切、▲：改善が必要 教師が実物を用いて例を示す。 モニターディスプレイを用いて注目を促す。 活動が見えるように待機用の座席を配置する。 児童A～C (T2)、児童D～G (T3、T4) の2グループに分かれ待機する。 各グループ毎に材料や絵の具を準備する。 適宜、同じ素材でも向きを変えたり、転がしてみたり、力加減を変えたりすることで写す形の感じが違うことに気付けるよう例示する。 T1：技術指導及び材料の調整 T2：小グループに対する支援 T3・T4：個別対応	○ モニター注視または実物に注目できた。 ○ 小人数グループに分かれ、各児童が順番で活動した。必然的に友達の間で場面が設定され、見たことを活かして用具を選ぶ・色を選ぶ・形を写す姿がみられた。 ▲持ちやすい材料（ローラーやヤクルトの容器など）を選ぶ傾向があった。 ▲色を混ぜることで色が濁る。色が濁ることが気になる児童もいる。 ○ ▲児童D～Gについては、しゃがむ動作に時間がかかり活動の流れが途切れる。（用具を選ぶ・形をうつす動作がスムーズに行えるよう動線を整えたほうがよい。） ○ モニターに注目できている。	手立て・支援の改善案 △：指導者の気づき △同一の教員が実物提示とカメラでの撮影を行うことは動作が煩雑になる。 改善：カメラの固定または、T1による役割分担の変更（師範担当・撮影担当） 改善：様々な材料に触れることができると同時に、持ちやすさを考慮した材料を追加する。 改善：展開中盤、絵の具各色に、白を追加し、混色による色の濁りを防ぐ。 改善：児童の実態・集中力の持続性を踏まえ、グループ毎に支持体（ラシヤ紙）の大きさを調整。 T2：ラシヤ紙1枚 床に直置き (1回目同様の設定) T3・T4：ラシヤ紙1/2枚 × 2回 長机に設置 ○動線を踏まえた用具・絵の具・支持体（ラシヤ紙）の配置 ○活動の目的に合わせた机の高さ
				モニター注視または実物に注目できた。 ○ 小人数グループに分かれ、各児童が順番で活動した。必然的に友達の間で場面が設定され、見たことを活かして用具を選ぶ・色を選ぶ・形を写す姿がみられた。 ▲持ちやすい材料（ローラーやヤクルトの容器など）を選ぶ傾向があった。 ▲色を混ぜることで色が濁る。色が濁ることが気になる児童もいる。 ○ ▲児童D～Gについては、しゃがむ動作に時間がかかり活動の流れが途切れる。（用具を選ぶ・形をうつす動作がスムーズに行えるよう動線を整えたほうがよい。） ○ モニターに注目できている。	△同一の教員が実物提示とカメラでの撮影を行うことは動作が煩雑になる。 改善：カメラの固定または、T1による役割分担の変更（師範担当・撮影担当） 改善：様々な材料に触れることができると同時に、持ちやすさを考慮した材料を追加する。 改善：展開中盤、絵の具各色に、白を追加し、混色による色の濁りを防ぐ。 改善：児童の実態・集中力の持続性を踏まえ、グループ毎に支持体（ラシヤ紙）の大きさを調整。 T2：ラシヤ紙1枚 床に直置き (1回目同様の設定) T3・T4：ラシヤ紙1/2枚 × 2回 長机に設置 ○動線を踏まえた用具・絵の具・支持体（ラシヤ紙）の配置 ○活動の目的に合わせた机の高さ
				モニター注視または実物に注目できた。 ○ 小人数グループに分かれ、各児童が順番で活動した。必然的に友達の間で場面が設定され、見たことを活かして用具を選ぶ・色を選ぶ・形を写す姿がみられた。 ▲持ちやすい材料（ローラーやヤクルトの容器など）を選ぶ傾向があった。 ▲色を混ぜることで色が濁る。色が濁ることが気になる児童もいる。 ○ ▲児童D～Gについては、しゃがむ動作に時間がかかり活動の流れが途切れる。（用具を選ぶ・形をうつす動作がスムーズに行えるよう動線を整えたほうがよい。） ○ モニターに注目できている。	△同一の教員が実物提示とカメラでの撮影を行うことは動作が煩雑になる。 改善：カメラの固定または、T1による役割分担の変更（師範担当・撮影担当） 改善：様々な材料に触れることができると同時に、持ちやすさを考慮した材料を追加する。 改善：展開中盤、絵の具各色に、白を追加し、混色による色の濁りを防ぐ。 改善：児童の実態・集中力の持続性を踏まえ、グループ毎に支持体（ラシヤ紙）の大きさを調整。 T2：ラシヤ紙1枚 床に直置き (1回目同様の設定) T3・T4：ラシヤ紙1/2枚 × 2回 長机に設置 ○動線を踏まえた用具・絵の具・支持体（ラシヤ紙）の配置 ○活動の目的に合わせた机の高さ

【補助資料5】PDCAシートによる授業改善（小学部第2時）

3 単元・題材の指導計画と主たる学び	
目指す主体的な姿	
本時の目標	学びに向かう力、人間性等
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
材料の特性を生かしながら、形を表すことを楽しむことができる。	進んで表したり見たりする活動に取り組む、つくったりすることの楽しさに気がつく。
材料によって、違った形が写せることを知る。 材料を使いローラーやスタンプで画面に軌跡を残している。	様々な材料や絵の具から、形や色の中から形や色に注目し利用 具を選ぶ。 写し方を繰り返したり変えたりする中で、写った形の材料の 向きや位置に注目していく。

小単元名	目標	学習内容	手立て・支援	評価(形成的評価)	手立て・支援の改善案
べったん コロコロ2	※()は関連する教科		○：適切、▲：改善が必要		
	使う材料や写し方を工夫して新しい形をつくりだすことができる。	【学習内容の確認】 前回の活動の様子について映像で振り返る。 様々な写しかたに気付く。 【造形遊び】 形を写す 思い付いたことを試したり、いろいろな形を写し付け、新しい形をつくりだす。 指や手、身近な素材やローラーなどを使い工夫しながら、いろいろな形を写して楽しむ。	モニターディスプレイを用いて注目でほしい部分への注視を促す。 並べる、つなげる、重ねる例をアニメーション(ストップモーション)で提示する。 小人教グループに分かれ、各児童が輪番で活動する。 児童A～Cは、活動の様子や画面の変化が見えるよう、ラジャ紙を床に直置きする。 児童D～Gは、立った状態で活動できるよう長机を使用する。また、画面の変化を確認できるよう活動の様子をモニターに撮影する。 児童が楽しさやイメージを持てるよう活動とあわせ、言語化して提示する。 モニターディスプレイを用いて、活動の様子について紹介する。出来上がった作品を実物撮影し視点を提示する。	モニター注視または実物に注目できた。 効果音がある、自分が活動している場面が映し出される場面ではより注目できている。 友達を選んだ用具や写し方を真似て、用具を選ぶ様子が見られた。 新しい用具を手に取り取る姿が見られ、形の変化を確認できるように用具と写した形を見比べる様子が見られた。 待機中にモニターを注視する姿が見られた。 ヘビや家などに形を具立てたり、色からイメージを膨らませ形をつつしていく姿が見られた。 ▲形をつつすことに夢中になり、グループ全員が同時に活動を始める。 (児童D～G活動の様子を提示) モニターに注視できた。 モニター実物を見比べたり、写された部分を見て話をする。	手立て・支援の改善案 △：指導者の気付き 改善：振り返りでは、活動の様子も振り返ることができるとような映像を使用する。 画面の余白をねらって、形をつつしていく傾向がみられる。(児童D～G) 対応：前半後半2回に分けて実施。 改善：T4(技術指導及び材料の調整)は児童の状況を見て各グループの補助にあたる。

【補助資料6】児童の変容と評価

児童の変容と評価

「8単元の指導計画」【補助資料 P.14】の評価規準と評価の場面にに基づき、映像による観察法により児童の評価を行うとともに変容を見取った。評価については以下のとおりとした。

◎ 十分に達成されたもの

○ 概ね達成されたもの

△ 達成に至らず目標設定に検討を要するもの として状況を文章で表記することとした。

また、支援 教員の働きかけや支援

下線部 ◎の根拠

+ 目標以外の児童の気づきや変容 として示した。

映像による評価が難しい場合は教員からの聴取を参考にし、(T1)と表記することとした。

児童	評価規準<評価の観点>【評価の場面】	
	第1時<知識・技能>	第2時<知識・技能>
児童A	<p>△学習課題▽材料の特性を生かしながら、形を表すことを楽しむ。</p> <p>○身近な材料に触れ、道具を選ぼうとしている。</p> <p>○画面に材料の形をローラーやスタンピングで写そうとしている。</p> <p>【造形遊び】 映像 ローラー・青を選んだ。 道具を軽く叩き付けるようにして形を写した。</p>	<p>△学習課題▽使う材料や写し方を工夫して新しい形をつくりだす。</p> <p>○材料や色を選び、形を写している。</p> <p>【造形遊び】 映像 赤の絵の具を指さしている。 丸いローラー、段ボールの形を写した。 自分から立ち上がりローラーを手に取り、青い絵の具を付ける、形を写した。</p>
児童B	<p>○様々な材料に触れ、道具を選ぼうとしている。</p> <p>◎画面に材料の形をローラーやスタンピングで写そうとしている。</p> <p>【造形遊び】 映像 ヤクルトの容器・ローラー・青を選んだ。 形がはっきりと写るように、力を込めて道具を紙に押しつけ、ゆっくりと持ち上げた。 写した後にできた模様を確かめ、位置をずらして形を写した。</p>	<p>○材料や色を選び、形を写している。</p> <p>【造形遊び】 映像 手を伸ばしスタンプを選んだ。 ローラー（紐付き）端から中央、縁に沿って自由に線を描いた。 体全体を使い動きながら線を描いた。 黄色にローラーで赤い線を重ねた。</p>
児童C	<p>○様々な材料に触れ、形や色の感じに気づき、道具を選ぼうとしている。</p> <p>○画面に材料の形を工夫して写そうとしている。</p> <p>【造形遊び】 映像 ローラーを選択し60cm程の長さの赤い線を描いた。 ローラーを使い、赤い線に黄色い色を重ねた。 支援：T2「これは三角って言うんだよ」と話す 「これ使ってみる」と答え三角・赤を選ぶ。 赤い線の隣に、三角の形をたくさん写しはじめています。</p>	<p>◎様々な材料に触れ、形や色の感じに気づき、形を写している。</p> <p>【造形遊び】 映像 蛇のような形を写すことができるスタンプを選んで手に取った。 写した形をみて「これ蛇みたい」と答える。 支援：T2「これはなあに」 写した形を見て「これはね6とたす(+）」と答える。 ローラーを使い、写した形に重ねて黄色を塗った。 絵を囲むようにローラーで縁に緑色を付けた。</p>

【補助資料6】児童の評価と変容

児童	評価規準<評価の観点> 【評価の場面】	
	第1時<知識・技能>	第2時<知識・技能>
児童D	<p>△学習課題▽材料の特性を生かしながら、形を表すことを楽しむ。</p> <p>○教員と一緒に様々な材料に触れ、道具を選ぼうとしている。</p> <p>○画面に材料の形をローラーやスタンプングで形を写そうとしている。</p> <p>【造形遊び】 映像 支援：T3スタンプ2種を提示する。 肉球のような模様を選んでいる。 支援：T2がラシャ紙を指さす。 紙の白い部分をねらい道具を押し当て、ずらす・こすすることで形を写した。 ローラー・緑を選び、勢いよくローラーを転がして、線を描いた。</p>	<p>△学習課題▽使う材料や写し方を工夫して新しい形をつくりだす。</p> <p>○教員と一緒に、材料や色を選び、形を写している。</p> <p>【造形遊び】 映像 支援：T3がスタンプ・ローラーを提示する。 スタンプを選び、2回紙に押ししている。 支援：T3から紐をまいたローラーを手渡す。 写した形に注目しながら、ゆっくりとローラーを動かした。</p>
児童E	<p>○教員に提示された材料の中から、道具を選ぼうとしている。</p> <p>○画面に材料の形をローラーやスタンプングで教員と一緒に写そうとしている。</p> <p>【造形遊び】 映像 支援：T3道具を提示し、選択を促す。 (ローラー・スタンプ2種) 肉球のような模様がでるものを選んだ。 ローラー・黄色を選んだ。 手前から奥に向けてローラーを転がし、形を写した。</p>	<p>○選択肢から材料や色を選び、形を写している。</p> <p>【造形遊び】 映像 見本で使った三角の形をしたスタンプ、黄色を選んだ。 紙の白い部分を狙い、ゆっくりと紙にスタンプを押し当て形を写した。 隙間なく形を敷き詰めた。</p>
児童F	<p>○教員に提示された様々な材料に触れ、道具を選ぼうとしている。</p> <p>○友達活動を参考にして、画面に材料の形をローラーやスタンプングで形を写そうとしている。</p> <p>【造形遊び】 映像 トイレットペーパーの芯・青を選んだ。 同じ道具で黄・緑を着け再度押し当て、道具に違った色をつけることで「色を混ぜた。」 2回道具を押し当て、形を写した。</p>	<p>材料や色を選び、形を写している。</p> <p>欠席</p>
児童G	<p>○教員に提示された様々な材料に触れ、道具を選ぼうとしている。</p> <p>○画面に材料の形をローラーやスタンプングで形を写そうとしている。</p> <p>【造形遊び】 映像 ローラー、プリン容器、ペットボトルキャップ、段ボールスタンプの入った箱の中からローラーを選んだ。 ローラーを叩き色をつける 支援：T3が手を取り使い方を示す ローラーを転がし色をつけた。回を重ねるごとに、線を長くつけていった。</p>	<p>○材料や色を選び、形を写している。</p> <p>【造形遊び】 映像 紐を巻いたローラーを使い、紙に色が付いていることを確認するように時々ローラーを持ち上げながら、青い色を付けた。 スタンプを押す、スタンプの絵の具の付いた部分を見ることを繰り返した。 ローラーを手渡されると体を震わせた。 写した形に注目しながら線を描いた。 ローラーを使い青い線を描いた。 ローラーを使い黄色い線を描いた。</p>

【補助資料6】児童の評価と変容

児童	評価規準<評価の観点> 【評価の場面】	
	第2時<思考・判断・表現>	第3時<思考・判断・表現>
児童A	<p>△学習課題▽使う材料や写し方を工夫して新しい形をつくりだす。</p> <p>◎材料などから表したいことを<u>教員と一緒に考え、思いついている。(形に注目し、重ねる、ずらす、並べるなど。色に注目し、同色にする、変えるなど。)</u></p> <p>【造形遊び】 映像 T1からの聴取 自分から立ち上がりローラーを手に取り、青い絵の具を付けた。 (友達と一緒に)形を写した。</p> <p>(T1)「<u>友達がやっている様子を見て(やりたいと感じ)同じものを選んでみたりという姿も見られてる。</u>」</p>	<p>△学習課題▽材料の特性を生かしながら、工夫して形を表すことを楽しむ。</p> <p>◎画用紙の形や材料などから表したいことを思いついている。</p> <p>【絵に表す活動】 映像 長方形(短冊)にスタンプ(肉球)で形を写した。 展示した自分の作品を指さした。 T1の手を引いて自分の作品の前に行く。 (T1)「<u>シャボン玉とボウリングなんだよ</u>ね」 うなずき自分の作品を指さした。 (T3)「へー！そうなんだ」</p>
児童B	<p>◎材料などから表したいことを思いついている。(形に注目し、重ねる、ずらす、並べるなど。色に注目し、同色にする、変えるなど。)</p> <p>【造形遊び】 映像 黄色の上にも赤い線を描いた。 三角と四角のスタンプで家に見立てた形を作った。</p>	<p>◎画用紙の形や材料などから表したいことを思いついている。</p> <p>【絵に表す活動】 映像 画用紙(三角・丸・はがき大、短冊状)からはがき大を選んだ。 ヤクルトの容器・緑を選び、くちの部分、底の部分の形を並べて写した。</p>
児童C	<p>◎材料などから表したいことを思いついている。(形に注目し、重ねる、ずらす、並べるなど。色に注目し、同色にする、変えるなど。)</p> <p>【造形遊び】 映像 白いところを狙ってスタンプを押す。 ローラーを使い、写した形に重ねて黄色を塗っていった。 スポンジペラに黄色を付け色の上に黄色を重ねていった。 絵を囲むようにローラーで縁に緑色を付けていった。</p>	<p>◎画用紙の形や材料などから表したいことを思いついている。</p> <p>【絵に表す活動】 映像 長方形(短冊)黄色を選び、一定の速さでローラーを動かす、全体に色を塗った。 写した形を見て、<u>三角形のスタンプの向きを交互に変えながら画用紙に収まるように形を連続させて写した。</u></p>
児童D	<p>◎材料などから表したいことを思いついている。(形に注目し、重ねる、ずらす、並べるなど。色に注目し、同色にする、変えるなど。)</p> <p>【造形遊び】 映像 うつした形に視線を向けながら、ゆっくりとローラーを動かした。</p> <p>+第3時の様子から 机の下に置いたポスターカラーを見つけ並べはじめる。(T2)「立てて並べるのが楽しくなってきたようだ」</p>	<p>△教員と一緒に、画用紙の形や材料などから表したいことを思いついている。</p> <p>【絵に表す活動】 映像 (T2)机の下に置いたポスターカラーを見つけ、並べはじめた。「立てて並べるのが楽しくなってきたようだ」とのこと。 青の絵の具を選んだ。 画用紙中央に、3度ローラーを往復させる絵の具を並べることに気持ちが向いているため、すぐに自席に戻った。</p>

【補助資料6】児童の評価と変容

児童	評価規準<評価の観点> 【評価の場面】	
	第2時<思考・判断・表現>	第3時<思考・判断・表現>
児童E	<p>△学習課題▽使う材料や写し方を工夫して新しい形をつくりだす。</p> <p>○材料などから表したいことを教員と一緒に考え、思いついている。(形に注目し、重ねる、ずらす、並べるなど。色に注目し、同色にする、変えるなど。)</p> <p>【造形遊び】 映像 白い部分を狙い、ゆっくりと紙にスタンプを押し当て形を写した。 ラシャ紙の白い部分に、紐をまいたローラーで色絵を付けていった。</p>	<p>△学習課題▽材料の特性を生かしながら、工夫して形を表すことを楽しむ。</p> <p>○教員に提示された画用紙の形や材料などから表したいことを思いついている。</p> <p>【絵に表す活動】 映像 支援：T2が長方形と三角の画用紙を提示し、「どっち」と声掛ける。 見比べ、長方形を指さして「こっち」と答えた。 青・赤・緑から緑を選び、三角のスタンプで、T2と一緒に三角の形を写した。</p>
児童F	<p>友達の活動を参考にして、材料などから表したいことを思いついている。(形に注目し重ねる、ずらす、並べるなど。色に注目し同色にする、変えるなど。)</p> <p>【造形遊び】 欠席</p>	<p>○教員に提示された画用紙の形や材料などから表したいことを思いついている。</p> <p>【絵に表す活動】 映像 三角のスタンプに緑をつけ、写した形を確認し一定の間隔を保ち形を写した。 スタンプで絵の具を掻き取り、小手のように滑らせて、画用紙に色をぬった。 画用紙八つ切りと長方形(はがき大)の縁をそろえて並べ、つなげて色を塗った。(T2)「紙と紙を並べつなげて塗っていません」 余白がなくなるように青で塗りつぶした。 更に赤を重ね、重なった部分を塗りつぶした。 +(T1)「(家庭での様子から)料理をやってるつもりじゃないかなと思います。そういうインスピレーションが浮かんだのかもかもしれません。」</p>
児童G	<p>○材料などから表したいことを教員と一緒に考え、思いついている。(形に注目し、重ねる、ずらす、並べるなど。色に注目し、同色にする、変えるなど。)</p> <p>【造形遊び】 映像 T3の机をノックする音を真似てスタンプを画面に叩きつけながら形を写した。 写したかたちに注目しながら線を作った。 T3からスタンプを手渡され、赤の絵の具を、<u>画面を叩きながら直線状に形を写した。</u></p>	<p>○教員に提示された画用紙から表したいことを思いついている。</p> <p>【絵に表す活動】 映像 支援：T2が画用紙大と小を提示し「どっち」と声掛ける。 大きい画用紙に手を伸ばす。 ローラーを手に取るとすぐに青の絵の具につけた。 横方向にゆっくりとローラーを動かし画用紙に模様を着けた。 できた形に注目した。 <u>紐を巻いたローラーを使って、紐の跡だけが残る程度の力加減を保ってローラーを転がして形を写した。</u></p>

高等部美術科学習指導案

日時：令和3年8月24日（火）5・6時間目

9月14日（火）5・6時間目

対象学級：花巻清風支援学校 高等部

指導者：福田 要（T1※）他4名

※8/24のみ 以降は福田T5

- 1 題材名 生活をいろいろる文様
- 2 内容のまとめ

題材名	領域	
生活をいろいろる文様	A表現	ア 考えたこと、目的や機能などを基に、描いたり作ったりする活動 （ア）考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、構想を練る
	共通事項	ア 「A表現」及び「B鑑賞」 （ア）形や色彩などの特徴について理解すること （イ）造形的な特徴などからイメージをもつこと

- 3 題材の目標 ※生徒の実態に応じた設定（4（4）研究との関わり参照）

3つの柱	段階	目標
知識及び技能	小学部 3段階	文様のもつ形や色などの造形的な視点に気付き、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫して文様をつくっている。
	中学部 1段階	文様のもつ造形的な視点について気付き、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身に付けている。
	高等部 1段階	文様のもつ造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表している。
思考力、判断力、表現力等	小学部 2段階	表したいことを思い付いたり、文様のもつ面白さや楽しさを感じ取ったりしている。
	中学部 1段階	文様の造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、身近にある造形や作品などから、自分の見方や感じ方を広げている。
	中学部 2段階	文様の造形的なよさや面白さ、美しさ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや想像したこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、自分たちの作品や美術作品などに親しみ自分の見方や感じ方を深めるようにする。
	高等部 1段階	文様の造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりするようにする。
	高等部 2段階	文様の造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりするようにする。
学びに向かう力、人間性等	高等部 1段階	楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い心豊かな生活を創造していく態度を養う。

4 題材について

(1) 生徒について

- ア 前題材において、文字や数字を基にTシャツのデザインの構想を練る学習を行ってきた。
- イ 唐草文様や菊花文様を基にしたスクラッチアートに取り組んでいる。伝統文様は、東京2020オリンピック等のエンブレムにも用いられており、なじみのある題材となっている。
- ウ 日々作業学習に取り組み、工程に沿って進めていく中で、精度を上げたり、組み合わせやレイアウト、配色を工夫したりする経験を積み重ねており、自分らしさを発揮しものを作り上げることに価値付けをしていくことができる。
- エ 言葉による指示で行動できる生徒が大半を占めている。美術科における実態については、小

【補助資料7】高等部美術科学習指導案

学部2段階から高等部1段階までと個人差が大きい。14名程度の生徒が同じ題材に取り組むため、個々の実態を踏まえた題材の選択・設定、活動構成、個に合わせた支援が必要と考える。

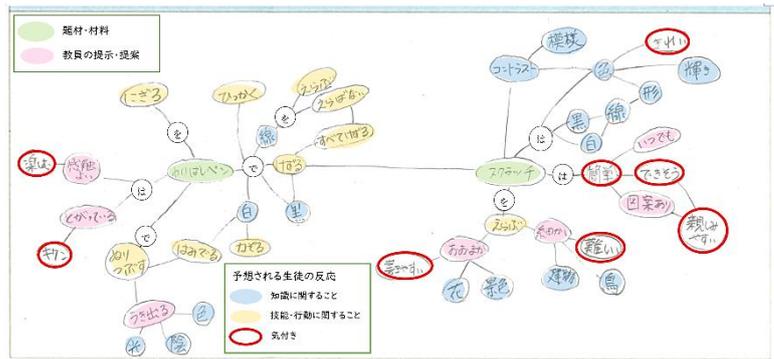
(2) 教材観

- ア 本教材は、実物や写真等を基にデザイン化したものを反復して構成することで画面を構成することができるという特徴があり、描くことに苦手意識があっても気構える必要がなく、イラストやラフスケッチ、コピー原面を用いて画面の構想を練ることが可能である。
- イ 文様は、自然物や日用品の形の特徴などから主題を生み出されているものであることを知ること、イメージをもとにした形や色彩、構成の仕方などの構想を練る過程を参考にしていくことができる題材である。
- ウ パターンの基本となる図案は小さくてよいため、線の単純化や協調、形や色彩の吟味を含めた下絵づくりに十分に時間をかけることができ、形や色彩への意味付けを広げたり、深めたりすることができる。

(3) 指導観

- ア 本題材における言語活動の特徴等
 - 生徒が記した形や色彩、構成の仕方について、意味や過程に関わる内容を言語化して生徒に投げかけることで、生徒が無意識に捉えている形や色彩などに対する意味付けへの気づきを促していく。
- イ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫点等
 - 文様の表現の工夫や文様に込められた願いに触れ、生活とのかかわりに関心をもち、日常におけるものの見方を広げていくことができるよう、日本や諸外国の文様を提示して生徒の興味や関心を引き出す。
- ウ TT間での授業の展開に関わる共通認識

本題材に関して、学校生活全般をもとに、生徒の反応や行動、活動の広がりをも想定したものを研究との関わりを想定し、題材構想シートを作成した。ここで示した、材料や用具とのかかわりの中で予想される生徒の表現及び鑑賞の活動や興味関心や意欲の変化、教員の学習における支援の方向性について、教員間で共通認識する。



(4) 研究との関わり

今回の実践は、造形的な見方・考え方を働かせ、教科の目指す資質・能力を育成するための図画工作科・美術科の授業づくりであり、育成を目指す資質・能力の三つの柱に基づいた目標・内容を踏まえるものである。特別支援学校に在籍している知的障がいのある生徒は、同一学年であっても、個人差が大きく、学力や学習状況も異なるため、発達等の状態を考慮して目標が小学部から高等部へと7段階にわたり構成されている。高等部生徒において、既定の2段階で押し量することは難しい。そのため、教科における資質・能力の育成にむけた生徒の実態に合わせた目標・内容の設定、目標達成に向けた支援の在り方、教員間での共通認識が重要である。また、作品作りにとどまらず、生活や社会の中の美術や美術文化などと豊かに関わる資質・能力の育成することが大切であると考え。

そこで、教科の観点を踏まえた生徒の実態を見取り、目標と内容を設定する際の目安とする。担当教員からの聞き取り及び行動の観察から得た生徒の特徴及び困難さを踏まえ、目標や活動内容を決定する。生徒が活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美術や美術文化などと豊かに関わるための資質・能力を育むことができたか、活動の様子や表した形をもとに見取ることを目的とする。

【補助資料7】高等部美術科学習指導案

6 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>知識：共通</p> <ul style="list-style-type: none"> 文様のもつ造形的な視点について気づき、形や色彩などの特徴について知っている。 <p>技能：A表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の主題に応じて、制作の順序を考え、見通しをもち、材料や用具の生かし方などを工夫して、元絵を基に文様を表している。 	<p>A表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 文様の造形的な特徴などからイメージをもちながら、経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく、経験したことや思ったことや材料などを基にした表現の学習活動に取り組もうとしている。

7 目標と生徒の学習の状況

生徒	本題材の目標【段階】			㊦ 特徴及び困難さ ㊧ 支援の方策
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	
生徒A	形や色などの感じに気づき、材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫して表すことができる。	形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い浮かべることができる。	楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。	㊦ 描画では、輪郭線を抽出したような表現をする。 ㊧ 線の重なりや面の分割によって表現されるデザインを例示し、展開を促す。
生徒B	形や色彩、材料などの特徴について知り、身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくったりすることができる。	造形的な特徴などからイメージをもちながら、経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて発想や構想することができる。	楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。	㊦ 文様のなぞり描き、直径1cm程度の弧を丁寧に描く。模写が得意である。 自由に表現することに抵抗感がある。 ㊧ スクラッチアートで取り組んだ文様から、好きな形を抽出し、原画の構想を練るように促す。
生徒C	形や色彩、材料などの特徴について知り、材料や用具の扱いに親しみ、表したことに合わせて表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表すことができる。	造形的な特徴などからイメージをもちながら、経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて発想や構想することができる。	楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。	㊦ 描きたいイメージを具体的にもち、迷いなく線を描く。 ㊧ 文様のデザインを構想する段階で形や色についてもイメージを深めていくよう促す。
生徒D	形や色彩、材料などの特徴について知り、身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくったりすることができる。	造形的な特徴などからイメージをもちながら、経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて発想や構想することができる。	楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。	㊦ 選択に一貫性があり、迷いなく描き、着彩する。文字の形をデザイン化して楽しむ。 ㊧ 造形的な見方・考え方を働かせ、制作に没頭できるような環境に配慮する。
生徒E	形や色彩、材料などの特徴について知り、身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくったりすることができる。	造形的な特徴などからイメージをもちながら、経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて発想や構想することができる。	楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。	㊦ 作りたいイメージを具体的にもち、表現する。 慎重に少しずつ作り込む傾向があり、完成までに時間を要する。 ㊧ 元絵を描く台紙の大きさを数種類提示し、活動量を考慮して選択できるよう、細部の詰めに時間をかけることができるよう配慮する。
生徒F	形や色彩、材料などの特徴について知り、材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表すことができる。	造形的な特徴などからイメージをもちながら、経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて発想や構想することができる。	楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。	㊦ 文様のなぞり描きでは、一定の速さで正確に線を描いていく。 ㊧ スクラッチアートで取り組んだ文様から、好きな形を抽出し、原画の構想を練るように促す。

【補助資料7】高等部美術科学習指導案

生徒G	形や色彩、材料などの特徴について知り、材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表すことができる。	造形的な特徴などからイメージをもちながら、経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて発想や構想することができる。	楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。	<p>㊦作りたいイメージを具体的にもち再現しようとする。 筆圧が強く細がみの描写が難しい。</p> <p>㊧元絵作りでは、描きたいイメージを再現できるよう、ケント紙の大きさを調整する。</p>
生徒H	形や色彩、材料などの働きを理解し、材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。	造形的な特徴などから全体のイメージで捉えることを理解しながら、対象や事象を深く見詰め感じ取ったことや考えたことを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。	楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。	<p>㊦作りたいイメージを具体的にもち再現しようとする。</p> <p>㊧文様を例に主題の生成について触れ、主題をもとにした形や色彩、構成の仕方などの構想を練る過程について意識するよう促す。</p>
生徒I	形や色などの感じに気付き、材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表すことができる。	形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くことができる。	楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。	<p>㊦操作・力加減の調整は得意ではないが、手元や素材の変化をよく見ている。 会話や人の動きなどの刺激に反応する傾向があり、集中が途切れやすい。</p> <p>㊧元絵作りでは操作性を考慮しケント紙の大きさを調整する。 また、刺激が少なくなるよう環境を調整する。</p>
生徒J	形や色などの感じに気付き、材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表すことができる。	形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くことができる。	楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。	<p>㊦描イメージをもち描くことができる。 描きたい対象が限定的で表現方法もパターン化してしまう傾向がある。</p> <p>㊧元絵作りでは、描きたいイメージを再現できるよう、ケント紙の大きさを調整する。</p>
生徒K	形や色彩、材料などの働きを理解し、材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。	造形的な特徴などからイメージを捉えながら、経験したことや想像したこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をしている。	楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。	<p>㊦経験や既習の知識を生かして作り方を工夫していくことができる。</p> <p>㊧文様を例に主題の生成について触れ、主題をもとにした形や色彩、構成の仕方などの構想を練る過程について意識するよう促す。</p>
生徒L	形や色彩、材料などの働きを理解し、材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。	造形的な特徴などから全体のイメージで捉え、対象や事象を見詰め感じ取ったことや考えたことを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。	楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。	<p>㊦作りたいイメージを具体的にもち再現しようとする。</p> <p>㊧文様を例に主題の生成について触れ、主題をもとにした形や色彩、構成の仕方などの構想を練る過程について意識するよう促す。</p>
生徒M	形や色彩などの感じに気付き、材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表すことができる。	形や色彩などを基に、自分のイメージをもちながら、材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くことができる。	楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。	<p>㊦描画では、輪郭線を抽出したような表現をする。</p> <p>㊧線の重なりや面の分割によって表現されるデザインを例示し、展開を促す。</p>
生徒N	形や色彩、材料などの働きを理解し、材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。	造形的な特徴などからイメージをもちながら、経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて発想や構想することができる。	楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。	<p>㊦文様のなぞり描き、直径1cm程度の弧を丁寧になぞる。模写が得意である。 自由に表現することに抵抗感がある。</p> <p>㊧スクラッチアートで取り組んだ文様から、好きな形を抽出し、原画の構想を練るよう促す。</p>

8 題材の指導計画

各時間の主な学習内容							
評価規準【評価の場面】							
時	生徒A	生徒B	生徒C	生徒D	生徒E	生徒F	生徒G
1	文様の特徴を生かして元絵を考える。						
	<p>知・技 文様のもつ、形や色、それらの組み合わせについて気付くこととする。 【B鑑賞】 制作の順序をもち、材料や用具を用いて、元絵を表している。 【A表現】 思・判・表 文様のもつ、形や色、それらの組み合わせなどから自分のイメージをもち、選択したモチーフを基に、表したいことを思い付けている。 【A表現】</p>	<p>知・技 文様のもつ、形や色彩などの特徴について注目しようとする。 【B鑑賞】 制作の順序を考え、見通しをもち、材料や用具の生かし方などを工夫して、元絵を表している。 【A表現】 思・判・表 文様の造形的な特徴などからイメージをもち、経験したことを基に、表し方を考えて、発想や構想しようとしている。 【A表現】</p>	<p>知・技 文様のもつ、形や色彩などの特徴について注目しようとする。 【B鑑賞】 制作の順序を考え、見通しをもち、材料や用具を用いて、元絵を表している。 【A表現】 思・判・表 文様の造形的な特徴などからイメージをもち、経験したことや思ったことを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想しようとしている。 【A表現】</p>	<p>知・技 文様のもつ、形や色彩などの特徴について注目しようとする。 【B鑑賞】 自分の主題を定めて、イメージを膨らませ、材料や用具を用いて、元絵を表している。 【A表現】 思・判・表 文様のもつ、形や色彩、それらの組み合わせなどから自分のイメージをもち、選択したモチーフを基に、表したいことを思い付けている。 【A表現】</p>	<p>知・技 文様のもつ、形や色彩などの特徴について注目しようとする。 【B鑑賞】 制作の順序を考え、見通しをもち、材料や用具を用いて、元絵を表している。 【A表現】 思・判・表 文様のもつ、形や色彩、それらの組み合わせなどから自分のイメージをもち、選択したモチーフを基に、表したいことを思い付けている。 【A表現】</p>	<p>知・技 文様のもつ、形や色彩などの特徴について注目しようとする。 【B鑑賞】 制作の順序を考え、見通しをもち、材料や用具の生かし方などを工夫して、元絵を表している。 【A表現】 思・判・表 文様のもつ、形や色彩、それらの組み合わせなどから自分のイメージをもち、経験したことを基に、構成を意識して、表し方を考えて、発想や構想しようとしている。 【A表現】</p>	<p>知・技 文様のもつ、形や色彩などの特徴について注目しようとする。 【B鑑賞】 イメージを膨らませ、材料や用具を用いて、元絵を表している。 【A表現】 思・判・表 文様のもつ、形や色彩、それらの組み合わせなどから自分のイメージをもち、経験したことを基に、構成を意識して、表し方を考えて、発想や構想しようとしている。 【A表現】</p>
<p>主体的に学習に取り組む態度 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく、経験したことや思ったことや材料などを基にした表現の学習活動に取り組もうとしている。【全般】</p>							
2	文様の特徴を生かして表現を工夫する。						
	<p>知・技 文様のもつ、形や色、それらの組み合わせについて意識し、元絵を基に文様を表している。 【A表現】 思・判・表 文様のもつ、形や色、それらの組み合わせなどから自分のイメージをもち、構成を意識して、表し方を考え、発想や構想しようとしている。 【A表現】</p>	<p>知・技 文様のもつ、形や色彩などの特徴について意識し、材料や用具の生かし方などを工夫して、元絵を基に文様を表している。 【A表現】 思・判・表 文様の造形的な特徴などからイメージをもち、経験したことを基に、構成を意識して、表し方を考えて、発想や構想しようとしている。 【A表現】</p>	<p>知・技 形や色彩などの特徴について意識し、イメージにあわせた材料や用具を用いて、元絵を基に文様を表している。 【A表現】 思・判・表 文様の造形的な特徴などからイメージをもち、経験したことを基に、構成を意識して、表し方を考えて、発想や構想しようとしている。 【A表現】</p>	<p>知・技 造形的な視点を生かし自分の主題を定めた、表現方法を工夫しながら、元絵を基に文様を表している。 【A表現】 思・判・表 文様のもつ、形や色彩、それらの組み合わせなどから自分のイメージをもち、経験したことを基に、構成を意識して、表し方を考えて、発想や構想しようとしている。 【A表現】</p>	<p>知・技 文様のもつ、形や色彩などの特徴について意識し、イメージにあわせた材料や用具を用いて、元絵を基に文様を表している。 【A表現】 思・判・表 文様のもつ、形や色彩、それらの組み合わせなどから自分のイメージをもち、構成を意識して、表し方を考え、発想や構想しようとしている。 【A表現】</p>	<p>知・技 文様のもつ、形や色彩などの特徴について意識し、材料や用具の生かし方などを工夫して、元絵を基に文様を表している。 【A表現】 思・判・表 文様のもつ、形や色彩、それらの組み合わせなどから自分のイメージをもち、構成を意識して、表し方を考え、発想や構想しようとしている。 【A表現】</p>	<p>知・技 文様のもつ、形や色彩などの特徴について意識し、イメージにあわせた材料や用具を用いて、元絵を基に文様を表している。 【A表現】 思・判・表 文様のもつ、形や色彩、それらの組み合わせなどから自分のイメージをもち、経験したことを基に、構成を意識して、表し方を考えて、発想や構想しようとしている。 【A表現】</p>
<p>主体的に学習に取り組む態度 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく、経験したことや思ったことや材料などを基にした表現の学習活動に取り組もうとしている。【全般】</p>							

各時間の主な学習内容							
評価規準【評価の場面】							
時	生徒H	生徒I	生徒J	生徒K	生徒L	生徒M	生徒N
1	文様の特徴を生かして文様を考える。						
	知・技 文様のもつ造形的な視点について実感を伴いながら理解している。 【B鑑賞】 自分の主題に応じて、制作の順序を考え、材料や用具の生かし方などを工夫して、意図に応じて表現方法を工夫し、元絵を表している。 【A表現】 思・判・表 文様の造形的特徴などから全体のイメージを捉え、感じ取ったことや考えたことを基に主題を生み出し、自分の思いを取り入れて構想を練っている。 【A表現】	知・技 文様のもつ、形や色、それらの組み合わせについて気付こうとする。 【B鑑賞】 制作の見通しをもち、材料や用具を用いて、元絵を表している。 【A表現】 思・判・表 文様のもつ、形や色、それらの組み合わせなどから自分のイメージをもち、選択したモチーフを基に、表したいことを思い付いている。 【A表現】	知・技 文様のもつ、形や色、それらの組み合わせについて気付こうとする。 【B鑑賞】 制作の見通しをもち、材料や用具を用いて、元絵を表している。 【A表現】 思・判・表 文様のもつ、形や色、それらの組み合わせなどから自分のイメージをもち、選択したモチーフを基に、表したいことを思い付いている。 【A表現】	知・技 文様のもつ造形的な視点について実感を伴いながら理解している。 【B鑑賞】 自分の主題に応じて、制作の順序を考え、材料や用具の生かし方などを工夫して、意図に応じて表現方法を工夫し、元絵を表している。 【A表現】 思・判・表 文様の造形的特徴などからイメージを捉えながら、経験したことや考えたことを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をしている。 【A表現】	知・技 文様のもつ造形的な視点について実感を伴いながら理解している。 【B鑑賞】 自分の主題に応じて、制作の順序を考え、材料や用具の生かし方などを工夫して、意図に応じて表現方法を工夫し、元絵を表している。 【A表現】 思・判・表 文様の造形的特徴などから全体のイメージを捉え、感じ取ったことや考えたことを基に主題を生み出し、構想を練ろうとしている。 【A表現】	知・技 文様のもつ、形や色、それらの組み合わせについて気付こうとする。 【B鑑賞】 制作の見通しをもち、材料や用具を用いて、元絵を表している。 【A表現】 思・判・表 文様のもつ、形や色、それらの組み合わせなどから自分のイメージをもち、選択したモチーフを基に、表したいことを思い付いている。 【A表現】	知・技 文様のもつ造形的な視点について実感を伴いながら理解している。 【B鑑賞】 制作の順序を考え、見通しをもち、材料や用具の生かし方などを工夫して、元絵を表している。 【A表現】 思・判・表 文様の造形的特徴などからイメージをもち、経験したことや思ったことを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をしようとしている。 【A表現】
	主体的に学習に取り組む態度 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく、経験したことや思ったことや材料などを基にした表現の学習活動に取り組もうとしている。【全般】						
2	文様の特徴を生かして表現を工夫する。						
	知・技 文様の造形的な視点を生かし、自分の主題に応じた、表現方法を工夫しながら、元絵を基に文様を表している。 【A表現】 思・判・表 文様の造形的特徴などから全体のイメージを捉え、構成を意識し、効果的な表し方を考え、発想や構想をしようとしている。 【A表現】	知・技 文様のもつ、形や色、それらの組み合わせについて意識し、元絵を基に文様を表している。 【A表現】 思・判・表 文様のもつ、形や色、それらの組み合わせなどから自分のイメージをもち、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をしようとしている。 【A表現】	知・技 文様のもつ、形や色、それらの組み合わせについて意識し、元絵を基に文様を表している。 【A表現】 思・判・表 文様のもつ、形や色、それらの組み合わせなどから自分のイメージをもち、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をしようとしている。 【A表現】	知・技 文様の造形的な視点を生かし、表現方法を工夫しながら、元絵を基に文様を表している。 【A表現】 思・判・表 文様の造形的特徴などからイメージを捉え、構成を意識して、表し方を考え、発想や構想をしようとしている。 【A表現】	知・技 文様の造形的な視点を生かし、自分の主題に応じた、表現方法を工夫しながら、元絵を基に文様を表している。 【A表現】 思・判・表 文様の造形的特徴などから全体のイメージを捉え、構成を意識し、主題を生み出して発想や構想をしようとしている。 【A表現】	知・技 文様のもつ、形や色、それらの組み合わせについて意識し、元絵を基に文様を表している。 【A表現】 思・判・表 文様のもつ、形や色、それらの組み合わせなどから自分のイメージをもち、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をしようとしている。 【A表現】	知・技 文様の造形的な視点を生かし、表現方法を工夫しながら、元絵を基に文様を表している。 【A表現】 思・判・表 文様の造形的特徴などからイメージをもち、構成を意識して、表し方を考え、発想や構想をしようとしている。 【A表現】
	主体的に学習に取り組む態度 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく、経験したことや思ったことや材料などを基にした表現の学習活動に取り組もうとしている。【全般】						

9 展開（全4時間）

(1) 1/2時（2時間） 文様の特徴を生かして文様を考えることができる。（組）

学習活動・学習内容 (時間)	○指導上の留意点 ☆支援 評価						
	生徒A	生徒B	生徒C	生徒D	生徒E	生徒F	生徒G
1 あいさつ（1分） ・学年合同で音楽室に集合する。 2 内容確認 (1) 文様を鑑賞する。(10分) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 【学習課題】 文様の造形的な特徴を知る。 </div> ・生活の中には様々な文化芸術があり、その一つに、日本の伝統文様があることを知る。 ・身の回りの様々な文様の単純化された形、連続したデザインについて知る。 (2) 今日の制作について知る。(6分) (移動) (3分) ・各自の教室へ移動する。 3 元絵作り (60分)	○コロナ感染症の状況によっては、クラス毎に集まりオンライン中継を活用する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 生活をいろいろ文様～文様について知ろう～ </div> ○プロジェクターを用いて注目して欲しい部分への注視を促す。 ○プレゼンテーションソフトを活用し、形の連続性や規則性についてアニメーションを用いて提示する。						
	☆(T1以下適宜) 文様を構成する線や図形の重なり、面の分割に気付くことができるように、画面への注目を促す。	☆(T1以下適宜) 文様を構成する元絵とその配置に注目できるように、画面への注目を促す。	☆T2 文様を構成する自然物や身の回りの事物を単純化した形に気付くことができるように、画面への注目を促す。	☆T2 文様を構成する自然物や身の回りの事物を単純化した形に気付くことができるように、画面への注目を促す。	☆(T1以下適宜) 文様を構成する自然物や身の回りの事物を単純化した形に気付くことができるように、画面への注目を促す。	☆(T1以下適宜) 文様がパターン化した元絵により構成されていることを知ることができるように、画面への注目を促す。	☆(T1以下適宜) 文様を構成する自然物や身の回りの事物を単純化した形に気付くことができるように、画面への注目を促す。
	評価【知①】形や色彩の特徴が、鑑賞の手がかりになることに気付き発言・表記しているかを確認する。[発言・記述] ○振り返り用のプリントを配布し、授業終了時に提出を促す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 生活をいろいろ文様～元絵をつくろう～ </div> 制作の手順、使用する用具、用具の使い方を提示する。 手順 イメージソースを選ぶ→元絵にする部分を選ぶ→線を抽出する <div style="display: flex; align-items: center; margin-left: 150px;"> →模写する } →配色を考える→カラーペンで着彩する </div> 図形を用いて分割する→線を抽出する ○スクリーンに映像を投影し手順を確認する。 ○同様の内容をプリントで配布し各自確認することができるようにする。						
	☆制作時、個別対応の必要性や個々の生徒が集中できる環境の設定づくりを考慮し、生徒Iは 年 組に移動する。 ○ 年 組（主：T2 副：T4） 年 組（主：T3 副：T5）TTはグループ分担支援体制とする。						

【学習課題】 文様の特徴を生かして元絵や構成を考える。

- (1) イメージソースを決める。
- (2) ケント紙の大きさを選ぶ。
- (3) 元絵を描く。
- (4) 配色を考える。
- (5) 着彩する。

- イメージソースを自然物、図形、文様の一部、描画の中から選択し、それぞれに合った制作の順序を提示する。
- 生徒の活動量に合わせ、ケント紙の大きさを選択できるようにする。また、追加使用も可とする。
- トレーシングペーパーや簡易カーボン用紙により輪郭を抽出する手法も可とする。
- 必要に応じ、元絵を縮小コピーしたものを配布し、制作を通して思考・選択できるようにする。
- 速乾性でにじみが少ない水性カラーペンを使用する。

評価 【技①】 自らが表したいことに応じ、手順を確認して元絵を描いている。〔観察・作品〕

評価 【思・判・表①】 表現の活動において自分が一番表したいことを造形的な特徴などを基に見立てたり、心情や感情などに関連付けたりしてイメージしていることを確認する。〔問いに対する発言・観察〕

☆ (T2) イメージソースに迷った際は、線の重なりや面の分割によって表現されるデザインを選択肢として提示する。 【思・判・表】	☆ イメージソースに迷った際は、スクラッチアート等で取り組んだ文様を選択肢として提示する。 【思・判・表】	☆ (T2) 文様のデザインを構想する際は、全体像を確認しながら、形や色彩などの具体的なイメージを深めていくよう促す。 【思・判・表】	☆ 本人の発想・構想を優先し、制作中は、制作に没頭できるよう問いかけは最小限に留める。 【思・判・表】	☆ (T2) 表したいことや表し方に合わせ学習調整できるように活動量を考え、ケント紙の大きさを選択するよう促す。 【技】	☆ イメージソースに迷った際は、スクラッチアート等で取り組んだ文様を選択肢として提示する。 【思・判・表】	☆ 書き込み等に時間をかけることができるように、活動量を考え、ケント紙の大きさを選択するよう促す。 【技】
---	--	--	--	---	--	--

- (移動) (3分)
- ・音楽室へ移動する。

- 4 作品鑑賞 (10分)
- ・制作した元絵を皆で鑑賞する。

- モニターディスプレイを用いて、制作の様子について紹介する。
- ☆ (T1) 作品について、表現された形や色彩について意味的文脈的に広げ講評する。

- 5 振り返り (3分)
- ・今日の学習について振り返る。

- 文様や今日の活動についての振り返りを行い、知識や経験の定着を促す。

- 6 次回の予告 (3分)
- ・次回の日時、内容、準備物について知る。

- 7 あいさつ (1分)

(1) 1/2時 (2時間) 文様の特徴を生かして文様を考えることができる。(組)

学習活動 ・学習内容 (時間)	○指導上の留意点 ☆教員の支援 評価						
	生徒H	生徒I	生徒J	生徒K	生徒L	生徒M	生徒N
1 あいさつ (1分) ・学年合同で音楽室に集合する。 2 内容確認 (1) 文様を鑑賞する。(10分) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 【学習課題】 文様の造形的な特徴を知る。 </div> ・生活の中には様々な文化芸術があり、その一つに、日本の伝統文様があることを知る。 ・身の回りの様々な文様の単純化された形、連続したデザインについて知る。 (2) 今日の制作について知る。(6分) (移動) (3分) ・各自の教室へ移動する。 3 元絵作り (60分)	○コロナ感染症の状況によっては、クラス毎に集まりオンライン中継を活用する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 生活をいろいろ文様～文様について知ろう～ </div> ○プロジェクターを用いて注目して欲しい部分への注視を促す。 ○プレゼンテーションソフトを活用し、パターンの連続性や規則性についてアニメーションを用いて提示する。						
	☆(T1以下適宜) 文様を構成する元絵とその配置に注目できるように、画面への注目を促す。	☆T3 文様を構成する自然物や身の回りの事物を単純化した形に気付くことができるように、画面への注目を促す。	☆(T1以下適宜) 文様を構成する自然物や身の回りの事物を単純化した形に気付くことができるように、画面への注目を促す。	☆(T1以下適宜) 文様を構成する元絵とその配置に注目できるように、画面への注目を促す。	☆(T1以下適宜) 文様が、自然物や身の回りの事物を単純化した元絵で構成されていることに気付くことができるように、画面への注目を促す。	☆T5 文様を構成する元絵とその配置に注目できるように、画面への注目を促す。	☆T5 文様を構成する元絵とその配置に注目できるように、画面への注目を促す。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 生活をいろいろ文様～元絵をつくらう～ </div> 制作の手順、使用する用具、用具の使い方を提示する。 手順 イメージソースを選ぶ→元絵にする部分を選ぶ→線を抽出する <div style="display: flex; align-items: center; margin-left: 150px;"> →模写する } →配色を考える→カラーペンで着彩する </div> 図形を用いて分割する→線を抽出する ○スクリーンに映像を投影し手順を確認する。 ○同様の内容をプリントで配布し各自確認することができるようにする。 ☆制作時、個別対応の必要性や個々の生徒が集中できる環境の設定づくりを考慮し、生徒Iは 年 組に移動する。						
	○ 年 組 (主：T2 副：T4) 年 組 (主：T3 副：T5) TTはグループ分担支援体制とする						

【学習課題】 文様の特徴を生かして元絵や構成を考え

- (1) イメージソースを決める。
- (2) ケント紙の大きさを選ぶ。
- (3) 元絵を描く。
- (4) 配色を考える。
- (5) 着彩する。

- イメージソースを自然物、図形、文様の一部、描画の中から選択し、それぞれに合った制作の順序を提示する。
- 生徒の活動量に合わせ、ケント紙の大きさを選択できるようにする。また、追加使用も可とする。
- トレーシングペーパーや簡易カーボン用紙により輪郭を抽出する手法も可とする。
- 必要に応じ、元絵を縮小コピーしたものを配布し、制作を通して思考・選択できるようにする。
- 速乾性でにじみが少ない水性カラーペンを使用する。

【評価】【技①】 自らが表したいことに応じ、手順を確認して元絵を描いている。〔観察・作品〕

【評価】【思・判・表①】 表現の活動において自分が一番表したいことを造形的な特徴などを基に見立てたり、心情や感情などと関連付けたりしてイメージしていることを確認する。〔問いに対する発言・観察〕

☆ (T1) 主題の生成について触れ、主題をもとにした形や色彩、構成の仕方などの構想を練る過程について意識するよう促す。 【思・判・表】	☆ (T2・4) (年組で実施) 表したいことを描くことができるように、生徒の技能面を考慮した描き方・着彩の仕方を提案する。 【技】	☆ (T3・5) 表したいことを描くことができるように、生徒の技能面を考慮した描き方・着彩の仕方を提案する。 【技】	☆ (T1) 主題の生成について触れ、主題をもとにした形や色彩、構成の仕方などの構想を練る過程について意識するよう促す。 【思・判・表】	☆ (T1) 主題の生成について触れ、主題をもとにした形や色彩、構成の仕方などの構想を練る過程について意識するよう促す。 【思・判・表】	☆ (T3・5) 書き込み等に時間をかけることができるように、活動量を考え、ケント紙の大きさを選択するよう促す。 【技】	☆ (T3) イメージソースに迷った際は、スクラッチアート等で取り組んだ文様を選択肢として提示する。 【思・判・表】
--	---	--	--	--	--	--

- (移動) (3分)
- ・音楽室へ移動する。
- 4 作品鑑賞 (10分)
- ・制作した元絵を皆で鑑賞する。
- 5 振り返り (3分)
- ・今日の学習について振り返る。
- 6 次回の予告 (3分)
- ・次回の日時、内容、準備物について知る。
- 7 あいさつ (1分)

- モニターディスプレイを用いて、制作の様子について紹介する。
- ☆ (T1) 作品について、表現された形や色彩について意味的文脈的に広げ講評する。
- 文様や今日の活動についての振り返りを行い、知識や経験の定着を促す。

(2) 2 / 2時 (2時間) 文様の特徴を生かして表現を工夫する。(組)

学習活動 (時間)	・学習内容 ○指導上の留意点 ☆教員の支援 評価						
	生徒A	生徒B	生徒C	生徒D	生徒E	生徒F	生徒G
1 あいさつ (1分) ・学年合同で音楽室に集合する。 2 内容確認 (1) 前回の学習を振り返る。 (6分) (2) 今日の制作について知る。 (6分) (移動) (3分) ・各自の教室へ移動する。 3 文様作り (60分)	○コロナ感染症の状況によっては、クラス毎に集まりオンライン中継を活用する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">生活をいろいろ文様～文様をつくろう2～</div> ○プロジェクターを用いて注目してほしい部分への注視を促す。 ○プレゼンテーションソフトを活用し、パターンの連続性や規則性についてアニメーションを用いて提示する。 ○プレゼンテーションソフトを活用し、今日の制作について(複製した元絵を着彩する。元絵を組み合わせて文様をつくる。)提示する。 ☆制作時、個別対応の必要性や個々の生徒が集中できる環境の設定づくりを考慮し、生徒Iは 年 組に移動する。 ○ 年 組 (主: T 2 副: T 4) 年 組 (主: T 3 副: T 5) TTはグループ分担支援体制とする						
(1) 着彩する。	・複製した元絵を着彩する。				☆ (T 1) 元絵を、10cm 四方のケント紙に描くことで、活動量を制限し細部の詰めに時間をかけることができるよう配慮する。【技】	☆ (T 1) 元絵作りでは、イメージを忠実に再現できるようにかけることができるようケント紙の大きさを調整する。 【技】	
(2) 元絵の配置を考える。 ・元絵を台紙に配置し、配置を考える。 ・元絵の向きや配置パターンを変	☆仮決定したものは、各教室で iPad を用いて撮影する。撮影したものは各自の iPad に Airdrop し、各生徒が手元で比較できるようにする。						

【学習課題】 文様の特徴を生かして表現を工夫する。

<p>えながら3～5種作成し比較する。</p> <p>(3) 図案を比較しより良い配置を考える。</p> <p>(4) 配置を決定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 決定後は、位置取りをして台紙にはりつける。 	<p>☆ (適宜) 元絵の向きや並べた時の模様のつながりや柄の面白さ、配置の規則性や統一感などに着目できるようにする。 【思・判・表】</p>	<p>☆ (適宜) 元絵の向きや並べた時の模様のつながりや柄の面白さ、配置の規則性や統一感などに着目できるようにする。 【思・判・表】</p>	<p>☆ (T2) 元絵の向きや並べた時の模様のつながりや柄の面白さ、配置の規則性や統一感などに着目できるようにする。 【思・判・表】</p>	<p>☆ (適宜) 全体のバランスを捉えて画面を構成している際は、仮決定の一つとみなすことを教師間で共通確認しておく。 【思・判・表】</p>	<p>☆ (T1) 複写への着彩に時間を要することが想定されるため、仮置きについては状況に応じてカラープリントしたものを代用し、配置の工夫に着目できるようにする。 【思・判・表】</p>	<p>☆ (適宜) 元絵の向きや並べた時の模様のつながりや柄の面白さ、配置の規則性や統一感などに着目できるようにする。 【思・判・表】</p>	<p>☆ (適宜) ケント紙のサイズが大きくなることが想定されるため、仮置きについては状況に応じてカラープリントしたものを代用し、配置の工夫に着目できるようにする。 【思・判・表】</p>
<p>(移動) (3分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 音楽室へ移動する。 <p>4 作品鑑賞 (10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今日の学習について振り返る。 <p>5 まとめ (10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 文様は、身の回りにある日本の文化として生活に根付いていることを知る。 文化芸術が身近な存在であることを知る。 <p>6 あいさつ (1分)</p>	<p>評価【知・技②】 形や色彩などの特徴について創作活動を通して理解し、およその表したいことに合わせて、用具を選んだり表し方を工夫したりして文様を表している。〔観察・作品〕</p> <p>評価【思・判・表②】 表現の活動において、作品の全体に注目し、表現の活動において自分が一番表したいことを造形的な特徴などを基に見立てたり、心情や感情などに関連図けたりして表現や構成を考えている。〔問いに対する発言・観察〕</p> <p>○モニターディスプレイを用いて、制作の様子について紹介する。</p> <p>☆ (T1) 作品について、表現された形や色彩について意味的文脈的に広げ講評する。</p> <p>○文様や今日の活動についての振り返りを行い、知識や経験の定着を促す。</p> <p>○日本・岩手・花巻と地域を焦点化しながら、主だった文化芸術の一例を提示する。</p>						

(2) 2 / 2時 (2時間) 文様の特徴を生かして表現を工夫する。(組)

学習活動 (時間)	・学習内容 ○指導上の留意点 ☆教員の支援 評価						
	生徒H	生徒I	生徒J	生徒K	生徒L	生徒M	生徒N
1 あいさつ (1分) ・学年合同で音楽室に集合する。 2 内容確認 (1) 前回の学習を振り返る。 (6分) (2) 今日の制作について知る。 (6分) (移動) (3分) ・各自の教室へ移動する。 3 文様作り (60分)	○コロナ感染症の状況によっては、各クラス毎に集まりオンライン中継を活用する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">生活をいろいろの文様～文様をつくろう2～</div> ○プロジェクターを用いて注目してほしい部分への注視を促す。 ○プレゼンテーションソフトを活用し、パターンの連続性や規則性についてアニメーションを用いて提示する。 ○プレゼンテーションソフトを活用し、今日の制作について(複製した元絵を着彩する。元絵を組み合わせて文様をつくる。)提示する。 ☆制作時、個別対応の必要性や個々の生徒が集中できる環境の設定づくりを考慮し、生徒Iは 年 組に移動する。 ○ 年 組 (主: T2 副: T4) 年 組 (主: T3 副: T5) TTはグループ分担支援体制とする						
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">【学習課題】 文様の特徴を生かして表現を工夫する。</div>						
(1) 着彩する。	・複製した元絵を着彩する。						
		☆(T4) 手元に集中して取り組めるよう、環境を調整し、励ましの声掛けをして、意欲喚起と集中力の持続を後押しするようにする。【技】	☆(T4) 手元に集中して取り組めるよう、環境を調整し、励ましの声掛けをして、意欲喚起と集中力の持続を後押しするようにする。【技】			☆(T2) 元絵作りでは、イメージを忠実に再現できるようにかけることができるようケント紙の大きさを調整する。 【技】	
(2) 元絵の配置を考える。							

<p>・元絵を台紙に配置し、配置を考える。</p> <p>・元絵の向きや配置パターンを変えながら3～5種作成し比較する。</p> <p>(3) 図案を比較しより良い配置を考える。</p> <p>(4) 配置を決定する。</p> <p>・決定後は、位置取りをして台紙にはりつける。</p> <p>(移動) (3分)</p> <p>・音楽室へ移動する。</p> <p>4 作品鑑賞 (10分)</p> <p>・今日の学習について振り返る。</p> <p>5 まとめ (10分)</p> <p>・文様は、身の回りにある日本の文化として生活に根付いていることを知る。</p> <p>・文化芸術が身近な存在であることを知る。</p> <p>6 あいさつ (1分)</p>	<p>☆仮決定したものは、各教室でiPadを用いて撮影する。撮影したものは各自のiPadにAirdropし、各生徒が手元で比較できるようにする。</p>						
	<p>☆ (T5) 全体のイメージで捉え、模様つながりや柄の面白さ、配置のバランスや統一感などに着目できるようにする。 【思・判・表】</p>	<p>☆ (T3) ケント紙のサイズが大きくなるのが想定されるため、仮置きについては状況に応じてカラープリントしたものを代用し、配置の工夫に着目できるようにする。 【思・判・表】</p>	<p>☆ (T2) 元絵の向きや並べた時の模様つながりや柄の面白さ、配置の規則性や統一感などに着目できるようにする。 【思・判・表】</p>	<p>☆ (適宜) 全体のバランスを捉えて画面を構成している際は、仮決定の一つとみなすことを教師間で共通確認しておく。 【思・判・表】</p>	<p>☆ 全体のイメージで捉え、模様つながりや柄の面白さ、配置のバランスや統一感などに着目できるようにする。 【思・判・表】</p>	<p>☆ (T4) ケント紙のサイズが大きくなるのが想定されるため、仮置きについては状況に応じてカラープリントしたものを代用し、配置の工夫に着目できるようにする。 【思・判・表】</p>	<p>☆ 元絵の向きや並べた時の模様つながりや柄の面白さ、配置の規則性や統一感などに着目できるようにする。 【思・判・表】</p>
<p>評価【知・技②】形や色彩などの特徴について創作活動を通して理解し、およその表したいことに合わせて、用具を選んだり表し方を工夫したりして文様を表している。〔観察・作品〕</p> <p>評価【思・判・表②】表現の活動において、作品の全体に注目し、表現の活動において自分が一番表したいことを造形的な特徴などを基に見立てたり、心情や感情などに関連図けたりして表現や構成を考えている。〔問いに対する発言・観察〕</p> <p>○モニターディスプレイを用いて、制作の様子について紹介する。</p> <p>☆ (T1) 作品について、表現された形や色彩について意味的文脈的に広げ講評する。</p> <p>○文様や今日の活動についての振り返りを行い、知識や経験の定着を促す。</p> <p>○日本・岩手・花巻と地域を焦点化しながら、主だった文化芸術の例を提示する。</p>							

【補助資料8】生徒の評価と変容

生徒の変容と評価

「8題材の指導計画」【補助資料 pp.35-36】の評価規準と評価の場面にに基づき、映像による観察法により生徒の評価を行うとともに変容を見取った。評価については以下のとおりとした。

- ◎ 十分に達成されたもの
- 概ね達成されたもの
- △ 達成に至らず目標設定に検討を要するもの として状況を文章で表記することとした。

また、支援教員の働きかけや支援 波下線 知識や思考・判断に関する、行動からの見取り + 目標以外の児童の気付きや変容 下線部 ◎の根拠 として示した。

なお、映像による評価が難しい場合は、担当教員からの聴取を参考にし (T) と表記することとした。(授業に参加した生徒のみ。生徒Bから生徒Nの12名についての評価。)

第1時

生徒	評価規準<評価の観点> 【評価の場面】	
	第1時<知識・技能>	第1時<思考・判断・表現>
生徒B	<p>△ 学習課題▽文様の特徴を生かして文様を考える。</p> <p>○文様のもつ、形や色彩、それらの組み合わせについて気付こうとする。 【B鑑賞】文様を鑑賞する 学習プリントの記述 6/6 (回答/設問) 文様の画像から、だいこん・さかな・せんすなど構成するモチーフの具体物の名称を挙げた。</p> <p>○制作に見通しをもち、材料や用具を用いて、元絵を表している。 【A表現】元絵作り 映像 例から唐草模様を選択し、元絵に使用する部分を決め、トレーシングペーパーを用いて、線を抽出した。</p>	<p>△ 学習課題▽文様の特徴を生かして文様を考える。</p> <p>○文様の造形的な特徴などからイメージをもち、経験したことを基に、表し方を考えて、発想や構想をしようとしている。 【A表現】元絵作り 映像 担当教員からの聴取 (T1) B「自分から発想することが難しく、時間内に仕上げるができなくなるから」と話した。 支援：選択肢を提示した。 1 素材を探す・素材を参考に作る 2 模様から選び、線を抽出する スクラッチアートで取り組んだことのある曲線のつながりを基にして、唐草文様を選択し、元絵に使用する部分を決め、トレーシングペーパーを用いて、線を描き出した。</p>
生徒C	<p>○文様のもつ、形や色彩などの特徴について注目しようとする。 【B鑑賞】文様を鑑賞する 学習プリントの記述 6/6 (回答/設問) 文様の画像から、アセロラ・海・せんすなど構成するモチーフの具体物の名称を挙げた。</p> <p>○制作の順序を考え、見通しをもち、材料や用具を用いて元絵を表している。 【A表現】元絵作り 映像 iPadで検索した新幹線のイラストを参考に形を描き、配色確認して30色カラーペンを使い、着彩した。</p>	<p>○文様の造形的な特徴などからイメージをもち、経験したことや思ったこと基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をしようとしている。 【A表現】元絵作り 映像 担当教員からの聴取 (T1) Cは、当初、横向きの新幹線を描こうと思っていたがC「(イメージと)違う」と話した。 支援：正面から描くことを提案し、正面向きのイラストを検索することを助言した。 iPadで検索した新幹線のイラストを参考に形を描き、30色カラーペンを使って、配色を確認して着彩した</p>
生徒D	<p>◎ 文様のもつ、形や色彩などの特徴について注目しようとする。 【B鑑賞】文様を鑑賞する 学習プリントの記述 6/6 (回答/設問) 文様の画像から、やさい・プールなど構成するモチーフについての総称や形や色彩からイメージした名称を挙げた。</p> <p>○自分の主題に応じて、イメージを膨らませ、材料や用具を用いて、元絵を表している。 【A表現】元絵作り 映像 iPadで検索した文房具のイラストを参考に線を選び、形を純化して複数枚の元絵を描く色を選び、30色カラーペンを使い、着彩した。</p>	<p>◎ 文様のもつ、形や色彩、それらの組み合わせなどから自分のイメージをもち、選択したモチーフを基に表したいことを思い付いている。 【A表現】元絵作り 映像 作品 iPadで検索した文房具のイラストを参考に、線を選び、形を純化して描いた。 同様の構図でゲント紙の大きさを換え複数枚の元絵を描く。30色カラーペンから使いたい色を選び、着彩した。</p>

【補助資料 8】生徒の評価と変容

生徒	評価規準<評価の観点>【評価の場面】	
	第1時<知識・技能>	第1時<思考・判断・表現>
生徒 E	<p>△学習課題√文様の特徴を生かして文様を考える。</p> <p>○文様のもつ、形や色彩などの特徴について注目しようとする。</p> <p>【B鑑賞】文様を鑑賞する 学習プリントの記述 6/6 (回答/設問) 文様の画像から、だいこん・さかな・せんすなど構成するモチーフの具体物の名称を挙げた。</p> <p>◎制作の順序を考え、見通しをもち、材料や用具を用いて、元絵を表している。</p> <p>【A表現】元絵作り 映像 例からアラベスク模様を選択し、元絵に使用する部分を決め、トレーシングペーパーを用いて線を抽出した。 紙を回転させ、描きやすいように向きを変えながら、サインペンで線をなぞった。</p>	<p>△学習課題√文様の特徴を生かして文様を考える。</p> <p>○文様のもつ、形や色彩、それらの組み合わせなどから自分のイメージをもち、選択したモチーフを基に、表したいことを思い付いている。</p> <p>【A表現】元絵作り 映像 担当教員からの聴取 (T1) E「原石をイメージした作品をつくりたい。」との思いがあり、エメラルドやダイヤモンドなど鉱物の画像を集めていました。デザイン化する際、どこに注目しよう描いたらいいか迷っていました。 支援：原石のイメージと提示された模様とを関連付けて考えるよう助言した。 アラベスク模様の中に輝くイメージを重ね、模様を選択し、元絵に使用する部分を決め、トレーシングペーパーを用いて、線を描き出した。</p>
生徒 F	<p>○文様のもつ、形や色彩などの特徴について注目しようとする。</p> <p>【B鑑賞】文様を鑑賞する 学習プリントの記述 6/6 (回答/設問) 文様の画像から、だいこん・魚・せんすなど構成するモチーフの具体物の名称を挙げた。</p> <p>○文様のもつ、形や色彩、それらの組み合わせなどから自分のイメージをもち、選択したモチーフを基に、表したいことを思い付いている。</p> <p>【A表現】元絵作り 映像 iPadで撮影した花の画像からチューリップを選びイラストを参考に図案化して形を描く。ピンク・赤・黄色の花を見比べ、配色による感じの違いを確かめてから着彩した。</p>	<p>○文様のもつ、形や色彩、それらの組み合わせなどから自分のイメージをもち、選択したモチーフを基に、表したいことを思い付いている。</p> <p>【A表現】元絵作り 映像 担当教員からの聴取 支援：図案化した形が何の花なのかわかるように、花の選択や着彩を工夫するよう助言した。 iPadで撮影した花の画像からチューリップを選びイラストを参考に図案化して形を描く。ピンク・赤・黄色の花を見比べ、配色による感じの違いを確かめて、赤を選択し着彩した。</p>
生徒 G	<p>○文様のもつ、形や色彩などの特徴について注目しようとする。</p> <p>【B鑑賞】文様を鑑賞する 学習プリントの記述 6/6 (回答/設問) 文様の画像から、だいこん・海・せんすなど構成するモチーフの具体物の名称を挙げた。</p> <p>○イメージを膨らませ、材料や用具を用いて、元絵を表している。</p> <p>【A表現】元絵作り 映像 iPadで検索したバスのイラストを参考に形を描き、30色カラーペンを使って様々な色を用いて着彩した。</p>	<p>○文様のもつ、形や色彩、それらの組み合わせなどから自分のイメージをもち、選択したモチーフを基に、表したいことを思い付いている。</p> <p>【A表現】元絵作り 映像 担当教員からの聴取 (T1) Cは、当初、バスの写真画像を基に描こうとしていたが、浮かく描けず困っていた。 支援：イラスト画像を検索し提示した。 iPadで検索したバスのイラストを参考に形を描き、30色カラーペンを使って、色の組み合わせに注目し元絵1枚ごとに配色を変えて着彩した。</p>

【補助資料8】生徒の評価と変容

生徒	評価規準<評価の観点> 【評価の場面】	
	第1時<知識・技能>	第1時<思考・判断・表現>
生徒H	<p>△学習課題V文様の特徴を生かして元絵を考える。</p> <p>○文様のもつ造形的な視点について実感を伴いながら理解している。 【B鑑賞】文様を鑑賞する 学習プリントの記述 6/6 (回答/設問) 文様の画像から、波・弓矢・市松など構成するモチーフの具体物の名称とともに学習した言葉を挙げた。 色や形の組み合わせから自分の好きな図柄を選択した。</p> <p>○自分の主題に応じて、制作の順序を考え、材料や用具の生かし方などを工夫して、意図に応じて表現方法を工夫し、元絵を表している。</p> <p>【A表現】元絵作り 映像 T2からの聴取 紙に定規を使って格子を描き、配置を考えて円を描き下絵を作成した。 下絵を基に、ケント紙の大きさを選び、定規や三角定規を使って図案を描いた。</p>	<p>△学習課題V文様の特徴を生かして元絵を考える。</p> <p>○文様の造形的な特徴などから全体のイメージで捉え感じ取ったことや考えたことを基に主題を生み出し自分の思いを取り入れて構想を練っている。</p> <p>【A表現】元絵作り 映像 担当教員からの聴取 (T2) Hは、デザイン画の本を参考にして図案を自分で考えた。 格子を描き、その中に配置に規則性を持たせて円を描き下絵を作成した。 下絵を基に、ケント紙の大きさを選び、定規や三角定規を使って図案を描いた。</p>
生徒I	<p>○文様のもつ、形や色、それらの組み合わせについて気付こうとする。</p> <p>【B鑑賞】文様を鑑賞する 学習プリントの記述 支援：生徒が話した単語を文字にして提示し視写を促す 6/6 (回答/設問) 文様の画像から、かぶ・さかな・ろうそくなど構成するモチーフの具体物の名称を挙げた。</p> <p>○制作に見通しをもち、材料や用具を用いて、元絵を表している。</p> <p>【A表現】元絵作り 映像 T3からの聴取 支援：個別対応による、注目の促し 技術面の補助 (マスキングテープを用いて着彩する部分を仕切るなど) 画像を参考に大まかな形を描く。30色カラーペンから色を選び着彩した。</p>	<p>○文様のもつ、形や色、それらの組み合わせなどから自分のイメージをもち、選択したモチーフを基に、表したいことを思い付いている。</p> <p>【A表現】元絵作り 映像 T3からの聴取 (T3) 好きな食べ物(餃子)を確認し、その画像を印刷して提示し、参考に描くこととした。 支援：個別対応 イメージを想起させる声掛け 注目の促し 画像を参考に大まかな形を描く。着彩では、声掛けをうけ、餃子や皿の色についてイメージを膨らませ、30色カラーペンから色を選んだ。</p>
生徒J	<p>△文様のもつ、形や色、それらの組み合わせについて気付こうとする。</p> <p>【B鑑賞】文様を鑑賞する 学習プリントの記述 0/6 (回答/設問) 第1時のみ出席 プリントの記入なし</p> <p>○制作に見通しをもち、材料や用具を用いて、元絵を表した。</p> <p>【A表現】元絵作り 映像 T3からの聴取 支援：個別対応による、注目の促し (T3) 元絵として先生や友達など身近な人をモデルにして絵を描く。30色カラーペンから色を選び着彩した。</p>	<p>○文様のもつ、形や色、それらの組み合わせなどから自分のイメージをもち、選択したモチーフを基に、表したいことを思い付いている。</p> <p>【A表現】元絵作り 映像 T3からの聴取 (T3) 身近な人の絵を描くことが好きで、休み時間にも自分から絵を描いている。 支援：イメージを促す声掛け (容姿の違い・表情への注目の促し) 先生や友達など身近な人をモデルにして絵を描いた。それぞれの名前を挙げ、髪の毛の長さや顔・目・鼻・口の形、大きさを変えて違いを表現して描いた。</p>

【補助資料8】生徒の評価と変容

生徒	評価規準<評価の観点>【評価の場面】	
	第1時<知識・技能>	第1時<思考・判断・表現>
生徒K	<p>△学習課題▽文様の特徴を生かして元絵を考える。</p> <p>○文様のもつ造形的な視点について実感を伴いながら理解している。 【B鑑賞】文様を鑑賞する 学習プリントの記述 6/6 (回答/設問) 文様の画像から、大根・イルカ・せんす、こんべいとうなど構成している様々なモチーフの名称を挙げた。 色や形の組み合わせから自分の好きな図柄を選択した。</p> <p>○自分の主題に応じて、制作の順序を考え、材料や用具の生かし方を工夫して、意図に応じて表現方法を工夫し、元絵を表した。</p> <p>【A表現】元絵作り 映像 T2からの聴取 本の挿絵を基に、カーボン紙を用いて形を複写し、線を整理して形を整え図案化した。色の組み合わせを考えて元絵毎に配色を変え、着彩した。</p>	<p>△学習課題▽文様の特徴を生かして元絵を考える。</p> <p>○文様の造形的な特徴などからイメージを捉えながら、経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をしている。</p> <p>【A表現】元絵作り 映像 担当教員からの聴取 (T2) Kは、本の挿絵から気に入ったものを探し、マンモスの親子を選んだ。 マンモスの親子の挿絵を基に、カーボン紙を用いて形を複写し、線を整理して形を整え図案化した。色の組み合わせを考えて元絵毎に配色を変え、着彩した。</p>
生徒L	<p>○文様のもつ造形的な視点について実感を伴いながら理解している。 【B鑑賞】文様を鑑賞する 学習プリントの記述 6/6 (回答/設問) 文様の画像から、枝・波・扇・生物など構成しているモチーフから注目したものの名称を一つ挙げている。 色や形の組み合わせから自分の好きな図柄を選択した。</p> <p>○自分の主題に応じて、制作の順序を考え、材料や用具の生かし方を工夫して、意図に応じて表現方法を工夫し、元絵を表している。</p> <p>【A表現】元絵作り 映像 例から唐草模様を選択し、元絵に使用している部分を決め、トレーシングペーパーを用いて、線を抽出した。</p>	<p>○文様の造形的な特徴などから全体のイメージで捉え、感じ取ったことや考えたことを基に主題を生み出し、構想を練ろうとしている。</p> <p>【A表現】元絵作り 担当教員からの聴取 (T2) Lは、たくさんある見本の中から好きな模様を選び元絵作りのための素材とした。 スクラッチアートで取り組んだことのある模様の中から唐草文様を選択し、元絵に使用する部分を決め、トレーシングペーパーを用いて、線を描き出した。</p>
生徒M	<p>○文様のもつ、形や色、それらの組み合わせについて気付こうとする。 【B鑑賞】文様を鑑賞する 学習プリントの記述 支援：生徒が話した単語を文字にして提示し視写を促す 6/6 (回答/設問) 文様の画像から、しましま・なみなみ・くるくるなど形や色から自分が捉えたイメージを言葉で表現している。</p> <p>○制作に見通しをもち、材料や用具を用いて、元絵を表している。</p> <p>【A表現】元絵作り 映像 T3からの聴取 支援：個別対応による、注目の促し 技術面の補助 教師の声掛けとともに、どんぐりをイメージして大まかな形を描く。30色カラーペンから色を選び着彩している。</p>	<p>○文様のもつ、形や色、それらの組み合わせなどから自分のイメージをもち、選択したモチーフを基に、表したいことを思い付いている。</p> <p>【A表現】元絵作り 映像 担当教員からの聴取 (T3) Mは、宮沢賢治の本を見て、「どんぐり！」と話し、モチーフを決定した。 支援：個別対応 イメージを想起させる声掛け 注目の促し 教師の声掛けとともに、どんぐりをイメージして大まかな形を描いた。童話に登場しているどんぐりに見立てて、目や口を描いた。カラーペンから基本となる色を選び着彩した。</p>

【補助資料8】生徒の評価と変容

第2時

生徒	評価規準<評価の観点>【評価の場面】	
	第2時<知識・技能>	第2時<思考・判断・表現>
生徒B	<p>△学習課題▽文様の特徴を生かして表現を工夫する。</p> <p>○文様のもつ、形や色彩などの特徴について意識し、材料や用具の生かし方などを工夫して元絵を基に文様を表している。</p> <p>【A表現】文様作り 映像 T1からの聴取 唐草模様は柄と背景で構成されることに注目し、模様の柄・背景を同系色で着彩した。iPadを用いて、元絵5枚の柄の向きや色の配置を変えて撮影し、比較した。</p>	<p>△学習課題▽文様の特徴を生かして表現を工夫する。</p> <p>○文様の造形的な特徴などからイメージをもち、経験したことや思ったこと基に、構成を意識した表し方を考えて、発想や構想をしようとしている。</p> <p>【A表現】文様作り 映像 T1からの聴取 (T1) Bはピンクや青、赤などの色の組み合わせや配色を工夫して着彩していた。唐草模様は柄と背景で構成されることに注目し、模様の柄・背景を同系色で着彩した。iPadを用いて、元絵5枚の柄の向きや色の配置を変えて撮影し、比較した。 題名「から草～カラフル～」</p>
生徒C	<p>○形や色彩などの特徴について意識し、イメージにあわせた材料や用具を用いて、元絵を基に文様を表している。</p> <p>【A表現】文様作り 映像 新幹線はやぶさをモチーフにして元絵を作成している。統一感を持って着彩された元絵を、規則的に並べて文様を構成した。iPadを用いて、台紙の色、配置を確認し、市松紋を参考にした配置を選択した。</p>	<p>○文様の造形的な特徴などからイメージをもち、経験したことや思ったこと基に、構成を意識した表し方を考えて、発想や構想をしようとしている。</p> <p>【A表現】文様作り 映像 新幹線はやぶさをモチーフにして元絵を作成している。統一感を持って着彩された元絵を、規則的に並べて文様を構成した。iPadを用いて、台紙の色、配置による感じの違いを確認し、市松紋を参考にした配置を選択した。 題名「しんかんせん」</p>
生徒D	<p>○造形的な視点を生かし自分の主題に応じた、表現方法を工夫しながら、元絵を基に文様を表している。</p> <p>【A表現】文様作り 映像 T1からの聴取 文房具をモチーフにして様々な大きさの元絵を作成した。 (T1) 黒い台紙を選び、全体のバランス、一つ一つの元絵の向きや位置には本人にとっての意味があるもので、例を提示しても配置を変えることなく画面を構成した。</p>	<p>○文様のもつ、形や色彩、それらの組み合わせなどから自分のイメージをもち、経験したことや思ったこと基に、構成を意識した表し方を考えて、発想や構想をしようとしている。</p> <p>【A表現】文様作り 担当教員からの聴取 (T1) 文房具をモチーフにして様々な大きさの元絵を作成している。黒い台紙を選び、全体のバランス、一つ一つの元絵の向きや位置には本人にとっての意味があるもので、例を提示しても、配置を変えることなく画面を構成した。 題名「ステーションナリー」</p>

【補助資料8】生徒の評価と変容

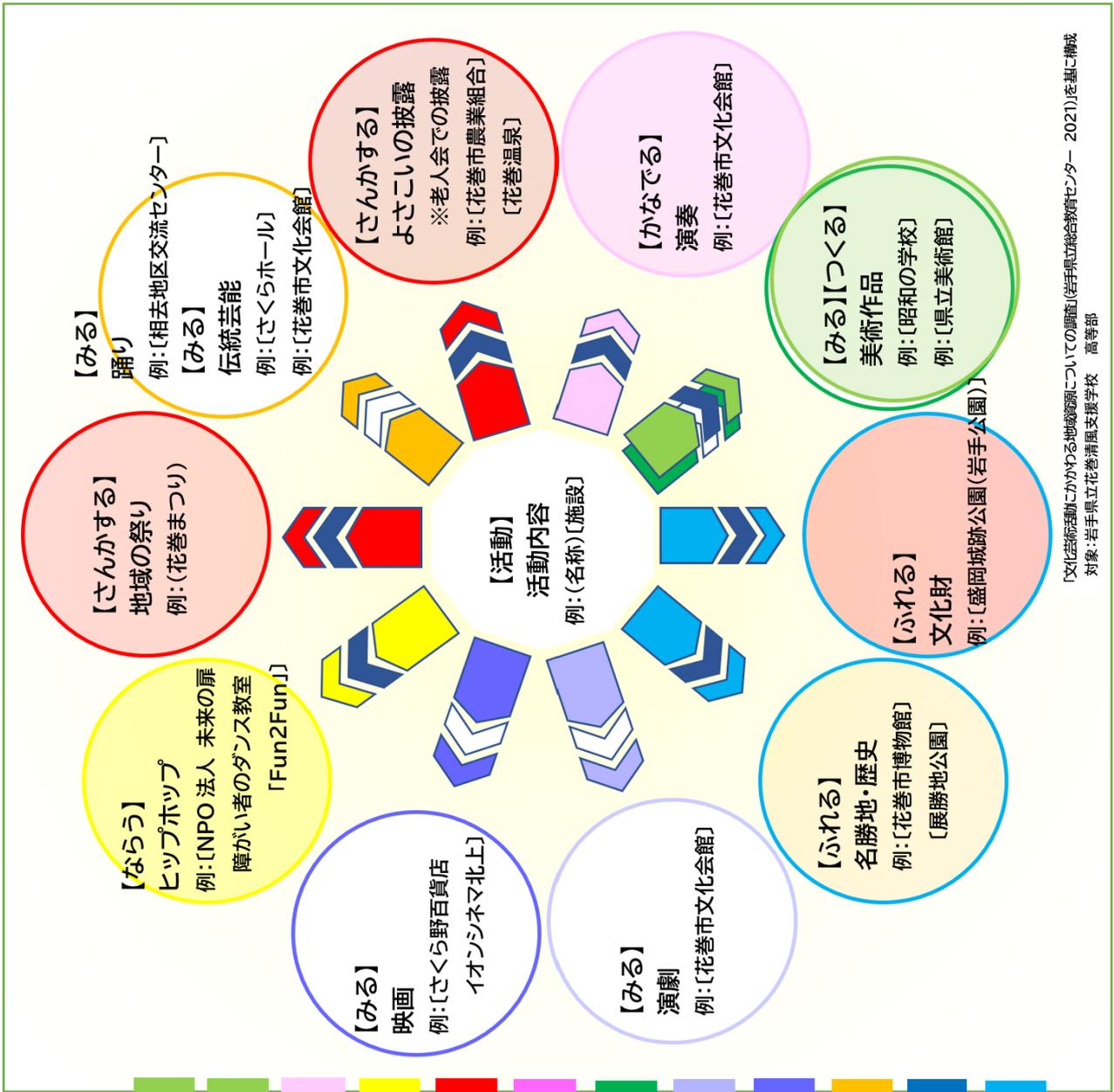
生徒	評価規準<評価の観点>【評価の場面】	
	第2時<知識・技能>	第2時<思考・判断・表現>
生徒E	<p>△学習課題▽文様の特徴を生かして表現を工夫する。</p> <p>○文様のもつ、形や色彩などの特徴について意識し、イメージにあわせた材料や用具を用いて元絵を基に文様を表している。</p> <p>【A表現】文様作り 映像 アラベスク模様をモチーフにして元絵を作成している。5枚の元絵を、<u>自作ガイドを作成し、それぞれの元絵の距離を測りや全体のバランスを確認して構成を決定した。</u></p>	<p>△学習課題▽文様の特徴を生かして表現を工夫する。</p> <p>○文様のもつ、形や色彩、それらの組み合わせなどから自分のイメージをもち、構成を意識して、表し方を考え、発想や構想をしようとしている。</p> <p>【A表現】文様づくり 映像 作品 アラベスク模様をモチーフにして元絵5枚、自作ガイドを作成し、それぞれの元絵の距離を測りや全体のバランスを確認して<u>配置を検討した。柄を星に見立てて星座をイメージし、中心の元絵を45度傾けて配置を決定した。</u> 題名「星座・正方形」</p>
生徒F	<p>○文様のもつ、形や色彩などの特徴について意識し、材料や用具の生かし方を工夫して元絵を基に文様を表している。</p> <p>【A表現】文様づくり 映像 図案化したチューリップ5つで構成された元絵を作成した。元絵を市松紋を参考に並べ、それぞれの元絵の向きや配置を変えて構成を検討した。</p>	<p>○文様のもつ、形や色彩、それらの組み合わせなどから自分のイメージをもち、構成を意識して、表し方を考え、発想や構想をしようとしている。</p> <p>【A表現】文様づくり 映像 作品 図案化したチューリップを規則的に配置して元絵を作成した。市松紋を参考に元絵を並べ、<u>元絵の向きや配置を変えて構成を検討した。</u></p>
生徒G	<p>○文様のもつ、形や色彩などの特徴について意識し、イメージにあわせた材料や用具を用いて、元絵を基に文様を表している。</p> <p>【A表現】文様づくり 映像 バスをモチーフにして元絵を作成している。元絵毎に配色を変えて着彩した。iPadを用いて、元絵の配置を変えて撮影し、その映像を参考にして配色に注目して配置を選択した。</p>	<p>○文様のもつ、形や色彩、それらの組み合わせなどから自分のイメージをもち、経験したことや思ったこと基に、構成を意識した表し方を考えて、発想や構想をしようとしている。</p> <p>【A表現】文様づくり 映像 バスをモチーフにして元絵を作成している。<u>元絵毎に配色を変えて着彩した。iPadを用いて、元絵5の配置を変えて撮影し、その映像を参考にして配色に注目して配置を選択した。</u></p>
生徒H	<p>○文様の造形的な視点を生かし、自分の主題に応じた、表現方法を工夫しながら、元絵を基に文様を表している。</p> <p>【A表現】文様作り 映像 担当教員からの聴取 (T2) デザイン画から着想した、格子と丸により構成した元絵を描く。元絵を市松紋を参考にレイアウトした。元絵の配置と併せて台紙の形も検討し、縦2段横4列の配置として構成を決定した。 題名「モザイクアート」</p>	<p>○文様の造形的な特徴などから全体のイメージで捉え、構成を意識し、効果的な表し方を考え、発想や構想をしようとしている。</p> <p>【A表現】文様作り 映像 担当教員からの聴取 作品 格子と丸により構成した元絵を市松紋を参考にレイアウトした。<u>元絵の配置と併せて台紙の形も検討し、縦2段横4列の配置として構成を決定した。</u> 題名「モザイクアート」</p>

【補助資料8】生徒の評価と変容

生徒	評価規準<評価の観点>【評価の場面】	
	第2時<知識・技能>	第2時<思考・判断・表現>
生徒I	<p>○文様のもつ、形や色、それらの組み合わせについて意識し、元絵を基に文様を表している。</p> <p>【A表現】文様作り 担当教員からの聴取 支援：個別対応 注目の促し 技術面の補助 餃子をモチーフにした元絵5枚を用いて並べ方による印象の違いをもとにして配置を選び、台紙に貼った。</p>	<p>○文様のもつ、形や色、それらの組み合わせなどから自分のイメージをもち、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をしようとしている。</p> <p>【A表現】文様作り 担当教員からの聴取 支援：個別対応 元絵の配置（例）の提示・選択の促し 教師は元絵の並べ方や向きを確認している。並べ方による<u>印象の違いをもとにして配置を選び決定した。</u></p>
生徒J	<p>文様のもつ、形や色、それらの組み合わせについて意識し、元絵を基に文様を表している。</p> <p>【A表現】文様作り 欠席</p>	<p>文様のもつ、形や色、それらの組み合わせなどから自分のイメージをもち、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をしようとしている。</p> <p>【A表現】文様作り 欠席</p>
生徒K	<p>○文様の造形的な視点を生かし、表現方法を工夫しながら、元絵を基に文様を表している。</p> <p>【A表現】文様作り 映像 マンモスの親子をモチーフにして元絵を作成している。元絵を、規則的に並べて文様を構成した。iPadを用いて、台紙の色、全体の配色を確認し、位置を調整してから、台紙に貼った。</p>	<p>○文様の造形的な特徴などからイメージを捉え構成を意識して、表し方を考え、発想や構想をしようとしている。</p> <p>【A表現】文様作り 映像 マンモスの親子をモチーフにして元絵を作成した。元絵を、規則的に並べて文様を構成している。iPadを用いて、<u>台紙の色、全体の配色を確認して、位置を調整してから、台紙に貼った。</u></p>
生徒L	<p>○文様の造形的な視点を生かし、自分の主題に応じた、表現方法を工夫しながら、元絵を基に文様を表している。</p> <p>【A表現】文様作り 映像 基にした唐草模様の配色を再現し元絵を制作した。iPadを用いて、元絵5枚の柄の向きや色の配置を変えて撮影し、比較した。左右に元絵の色をそろえ、配置を決定した。</p>	<p>○文様の造形的な特徴などから全体のイメージで捉え、構成を意識し、主題を生み出して発想や構想をしようとしている。</p> <p>【A表現】文様作り 映像 作品 基にした唐草模様の<u>配色を再現し元絵を制作した。</u> iPadを用いて、<u>元絵5枚の柄の向きや色の配置を変えて撮影し、比較した。</u> <u>左右に元絵の色をそろえ、配置を決定した。</u> 題名「唐草模様」</p>
生徒M	<p>○文様のもつ、形や色、それらの組み合わせについて意識し、元絵を基に文様を表している。</p> <p>【A表現】元絵作り 担当教員からの聴取 支援：個別対応 注目の促し 技術面の補助 (T2) どんぐりをモチーフにした元絵5枚を用いて並べ方による印象の違いをもとにして配置を選び、台紙に貼った。</p>	<p>○文様のもつ、形や色、それらの組み合わせなどから自分のイメージをもち、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をしようとしている。</p> <p>【A表現】文様作り 担当教員からの聴取 支援：個別対応 (T2) 元絵の配置（例）の提示・選択の促し 教師は元絵の並べ方や向きを確認した。並べ方による<u>印象の違いをもとにして配置を選び、決定した。</u></p>



主な文化芸術活動	主な施設等
<p>【つくる】作品の創作 (音楽・美術・演劇 などをつくりだすこと)</p>	<p>岩手県立美術館 〒020-0866 盛岡市本宮幅 12-3</p>
<p>【はっぴょうする】作品の展示・発表</p>	<p>岩手県特別支援学校作品展</p>
<p>【かなでる】音楽の演奏・出演</p>	 <p>岩手県立花巻南風文藝学校(岩手県立花巻南風文芸学校)</p>
<p>【ならう】音楽・書道・華道などの習い事</p>	
<p>【さんかする】地域の芸能や祭りへの参加</p>	
<p>【さく】音楽 (オーケストラ、合唱 など)</p>	
<p>【みる】美術作品 (絵・彫刻・書道・など)</p>	<p>昭和の学校 〒025-0253 花巻市下シ沢字牛角 86-1 岩手県立美術館 〒020-0866 盛岡市本宮幅 12-3 るんびにい美術館 〒025-0065 花巻市星ヶ丘 21-29</p>
<p>【みる】演劇 (人形劇・ミュージカルなど)</p>	<p>花巻市文化会館 〒025-0097 花巻市若葉町 3丁目 16-22</p>
<p>【みる】映画鑑賞 (映画・アニメ映画・CGアートなど)</p>	<p>さくら野百貨店 イオンシネマ北上 〒024-0094 北上市本町通り 2丁目 2-1</p>
<p>【みる】伝統芸能 (歌舞伎・鹿踊り・鬼剣舞 など)</p>	<p>北上市文化交流センターさくらホール 〒024-0084 北上市さくら通り 2丁目 1-1</p>
<p>【つかう】伝統工芸 (織物・染織品・漆器・木工品・陶磁器など)</p>	<p>花巻市博物館 〒025-0014 花巻市高松 26地割 8番地 1 展勝地公園 〒024-0043 北上市立花 10地割 盛岡城跡公園(若手公園) 〒020-0023 盛岡市内丸 1-37</p>
<p>【はるる】文化財等 (歴史的な建造物(社寺、城など)遺跡、名勝地など)</p>	
	<p>文化芸術活動にかかわる地域課題についての調査(岩手県立総合教育センター(2021))を基に構成 対象:岩手県立花巻南風支援学校 高等部</p>



〔文化芸術活動にかかわる地域資源についての調査(岩手県立総合教育センター 2021)を基に構成〕
対象：岩手県立花巻清風支援学校 高等部

花巻・北上版

くらしの中の

文化芸術

授業実践「生活をいろいろ文様」で紹介した
くらしの中の文化芸術

【つかう】伝統工芸
南部型染 北上市

【つかう】伝統工芸
南部古代型染 盛岡市

【つかう】伝統工芸
花巻傘 花巻

【つかう】伝統工芸
漆器 花巻市

【みる】美術作品
〔るんびにい美術館〕
※パラインピック閉会式での
プロジェクトインマッピングの紹介

(地域名) 版

文化芸術活動

地域資源活用 リーフレット

(年度) 版

裏面と配色を揃え、インデックスとして活用 主な文化芸術活動	主な施設等
<p>【つくる】作品の創作 (音楽・美術・演劇 などをつくりだすこと)</p> 	<p>施設名： 住 所：</p>
<p>【はっぴょうする】作品 の展示・発表</p> 	<p>岩手県特別支援学校/作品展</p>
<p>【かかてる】音楽 の演奏・出演</p> 	<p>施設名： 住 所：</p>
<p>【ならう】音楽・書道・華道などの習い事</p> 	<p>施設名： 住 所：</p>
<p>【さんかする】地域 の芸能 や祭りへの参加</p> 	<p>施設名： 住 所：</p>
<p>【さく】音楽 (オーケストラ、合唱 など)</p> 	<p>施設名： 住 所：</p>
<p>【みる】美術作品 (絵・彫刻・書道・など)</p> 	<p>施設名： 住 所：</p>
<p>【みる】演劇 (人形劇・ミュージカルなど)</p> 	<p>施設名： 住 所：</p>
<p>【みる】映画鑑賞 (映画・アニメ映画・OG アートなど)</p> 	<p>施設名： 住 所：</p>
<p>【みる】伝統芸能 (歌舞伎・鹿踊り・鬼刺舞 など)</p> 	<p>施設名： 住 所：</p>
<p>【つかう】伝統工芸 (織物、染織品、漆器、木工品、陶磁器など)</p>	<p>施設名： 住 所：</p>
<p>【ふれる】文化財 (歴史的な建造物 (社寺、城など) 遺跡、名勝地など)</p> 	<p>施設名： 住 所：</p>

(地域名) 版

表面と配色を揃えインデックスとして活用

文化芸術

授業実践「
」で紹介した
くらしの中の文化芸術

【目的】分野
名称 地域

例【つかう】伝統工芸
南部古代型染 盛岡市

【目的】分野
名称 地域

【目的】分野
名称 地域

【目的】分野
名称 地域

円の外枠:
主な文化芸術活動と同色
円の色: 白(鑑賞) 色あり(鑑賞以外)

文化芸術活動にかかわる地域資源についての解説(宮城県立総合教育センター 2021)を基に構成
内容: 学校 年

【参考資料】図画工作科・美術科の授業づくりにおける教師の困難さについての変化（(授業実践1)）

【調査1】

図画工作科・美術科の授業づくりにおける教師の困難さに関する調査

(池田史志・児玉真樹子・高橋智子2017『特別支援学校における美術の実施実態に関する全国調査』

特別支援学校における美術の指導困難に関する質問項目を参照して作成)

実施期間：2021年8月（授業実践前）2021年10月（授業実践後） 実施対象：小学部 年 図画工作科担当教員

実施方法：質問紙法 授業づくりにおける困難さについて（1：低い 10高い）10件法により回答

カテゴリー	No.	質問	実施月	回答及び実践前後における変化					
				T1		T2		T3	
実態把握	1	クラスに在籍する子ども一人ひとりの実態を的確に把握すること	8	6	2	3			
			10	6	2	3			
	2	図画工作科・美術科（造形活動）に必要となる、実態把握の観点を設定すること	8	5	5	3			
10			5	4	3				
3	クラスに在籍する子ども全員の実態を、チーム・ティーチングの先生と共通理解すること	8	3	2	2				
		10	3	2	3				
目標設定	4	授業で、子ども一人ひとりの実態に応じた目標設定を行うこと	8	3	2	2			
			10	3	2	3			
	5	他の教科・領域で設定する目標と、図画工作科・美術科（造形活動）で設定する目標を関連付けること	8	3	4	3			
10			3	3	4				
6	個別の指導計画で図画工作科・美術科（造形活動）の長期目標を設定すること	8	5	5	2				
		10	6	5	4				
題材開発	7	クラスに在籍する子ども全員が活動可能な図画工作科・美術科（造形活動）の授業を設定すること	8	4	5	4			
			10	4	5	4			
	8	平面作（絵や版画等）を制作する題材を開発すること	8	4	5	5			
			10	3	5	4			
	9	立体作品（彫刻、工芸等）を製作する題材を開発すること	8	4	5	4			
			10	3	5	4			
10	造形遊び（遊びの要素を含む造形活動）の題材を開発すること	8	4	5	4				
		10	3	5	4				
11	鑑賞の題材を開発すること	8	4	7	4				
		10	3	7	5				
12	子どもが興味関心を持って意欲的に活動できる図画工作科・美術科（造形活動）の題材を開発すること	8	4	5	5				
		10	4	5	5				
支援	13	子ども一人ひとりの実態に応じて教材教具を用意すること	8	5	3	3			
			10	4	3	5			
	14	どこまでを支援し、どこまでを子供が自力で制作すればよいのかを見極めること	8	4	3	4			
10			4	3	5				
15	子どもの状態を見ながら、安全に授業を運営すること	8	3	2	3				
		10	3	2	3				
改善	16	子どもがつまづいている原因を的確に把握すること	8	4	5	4			
			10	4	5	5			
17	授業で発生した指導上の問題点を改善すること	8	4	5	3				
		10	4	5	5				
ティーム・ティーチング	18	主担当教員と副担当教員の役割を明確にして実践すること	8	5	2	3			
			10	4	2	3			
	19	チーム・ティーチングの先生と授業のねらいを共有すること	8	4	2	3			
			10	4	2	3			
20	チーム・ティーチングの先生と個別の支援の程度を共通認識すること	8	4	2	3				
		10	4	2	3				
21	チーム・ティーチングの先生に対して子どもの作品に手を加えすぎないように伝えること	8	3	5	3				
		10	3	4	3				
評価	22	個別の実態に応じて評価を行うこと	8	3	3	3			
			10	3	2	4			
23	評価の観点を設定すること	8	4	5	3				
		10	4	2	4				
専門性	24	図画工作科・美術科（造形活動）の教科内容に関する専門知識を身につけること	8	7	8	3			
			10	5	8	4			
25	障がいに関する専門的な知識を身につけること	8	3	2	3				
		10	3	2	4				

【参考資料】図画工作科・美術科の授業づくりにおける教師の困難さについての変化（（授業実践2））

【調査1】

図画工作科・美術科の授業づくりにおける教師の困難さに関する調査

（池田史志・児玉真樹子・高橋智子2017『特別支援学校における美術の実施実態に関する全国調査』

特別支援学校における美術の指導困難に関する質問項目を参照して作成）

実施期間：2021年8月（授業実践前）2021年10月（授業実践後） 実施対象：高等部 年（通常） 美術科担当教員

実施方法：質問紙法 授業づくりにおける困難さについて（1：低い 10高い）10件法により回答

カ テ ゴ リ	No.	質問	実 施 月	回答及び実践前後における変化			
				🏠🏠 : 1ポイントの増減 🏠🏠🏠 : 2ポイント以上の増加（困難さ増） 🏠🏠🏠 : 2ポイント以上の軽減（困難さ減）			
				T1 (制作活動：□クラスT1)	T2 (制作活動：◇クラスT1)	T3 (制作活動：□クラスT2)	T4 (制作活動：◇クラスT2)
実 態 把 握	1	クラスに在籍する子ども一人ひとりの実態を的確に把握すること	8	8	6	7	8
			10	8	5	7	8
	2	図画工作科・美術科（造形活動）に必要となる、実態把握の観点を設定すること	8	9	9	9	6
10			9	9	9	8	
3	クラスに在籍する子ども全員の実態を、チーム・ティーチングの先生と共通理解すること	8	6	5	5	7	
		10	6	4	5	7	
目 標 設 定	4	授業で、子ども一人ひとりの実態に応じた目標設定を行うこと	8	9	6	7	7
			10	9	5	7	7
	5	他の教科・領域で設定する目標と、図画工作科・美術科（造形活動）で設定する目標を関連付けること	8	10	8	9	7
10			10	8	9	7	
6	個別の指導計画で図画工作科・美術科（造形活動）の長期目標を設定すること	8	9	8	9	6	
		10	9	8	9	6	
題 材 開 発	7	クラスに在籍する子ども全員が活動可能な図画工作科・美術科（造形活動）の授業を設定すること	8	9	9	7	7
			10	9	9	10	7
	8	平面作（絵や版画等）を制作する題材を開発すること	8	9	7	5	7
			10	8	7	5	7
	9	立体作品（彫刻、工芸等）を製作する題材を開発すること	8	9	7	7	9
			10	9	7	7	7
10	造形遊び（遊びの要素を含む造形活動）の題材を開発すること	8					
		10					
11	鑑賞の題材を開発すること	8	10	9	7	8	
		10	9	9	8	8	
12	子どもが興味関心を持って意欲的に活動できる図画工作科・美術科（造形活動）の題材を開発すること	8	9	8	8	8	
		10	9	8	8	8	
支 援	13	子ども一人ひとりの実態に応じて教材教具を用意すること	8	10	6	7	8
			10	10	5	7	8
	14	どこまでを支援し、どこまでを子供が自力で制作すればよいのかを見極めること	8	8	6	7	7
10			9	5	8	8	
15	子どもの状態を見ながら、安全に授業を運営すること	8	8	4	3	8	
		10	8	3	3	8	
改 善	16	子どもがつまづいている原因を的確に把握すること	8	8	5	6	8
			10	8	5	6	8
17	授業で発生した指導上の問題点を改善すること	8	9	5	8	8	
		10	9	5	8	8	
テ ィ ー ム ・ チ ー ム ・ グ	18	主担当教員と副担当教員の役割を明確にして実践すること	8	9	4	7	5
			10	9	4	7	7
	19	チーム・ティーチングの先生と授業のねらいを共有すること	8	9	3	5	4
			10	9	3	5	7
20	チーム・ティーチングの先生と個別の支援の程度を共通認識すること	8	8	4	7	4	
		10	8	3	7	7	
21	チーム・ティーチングの先生に対して子どもの作品に手を加えすぎないように伝えること	8	8	5	7	8	
		10	8	5	8	8	
評 価	22	個別の実態に応じて評価を行うこと	8	8	3	3	7
			10	8	3	3	7
23	評価の観点を設定すること	8	9	6	6	7	
		10	9	6	6	7	
専 門 性	24	図画工作科・美術科（造形活動）の教科内容に関する専門知識を身につけること	8	8	10	9	8
			10	8	10	9	8
25	障がいに関する専門的な知識を身につけること	8	7	6	5	7	
		10	7	6	5	8	